

令和 6 年 度
教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書



令和 7 年 9 月
加須市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	点検及び評価の基本方針	
	(1) 目的	1
	(2) 対象事業	1
	(3) 対象期間	1
	(4) 実施方法	2
3	令和6年度教育委員会関連事業一覧	3
4	各事業の点検評価	
	(1) 基本目標の達成度評価	7
	(2) 基本目標の取組状況	9
	(3) 各事業の達成度評価	14
5	令和5年度評価を踏まえた取組状況	40
6	学識経験者の意見	64
7	おわりに	76

1 はじめに

加須市教育委員会では、平成27年12月に制定した「加須市人づくり宣言～教育大綱～」に掲げる三つの市民の姿の実現を目指し、これからの時代にふさわしい本市の教育を総合的かつ計画的に推進するため策定した「第2次加須市人づくりプラン」に基づき、「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念として、7つの基本目標、26の施策を位置づけ、加須市の教育行政を総合的かつ計画的に推進していきます。

各事業の推進にあたっては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、毎年度、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しております。

※この点検及び評価は、事業ごとに作成した事業管理シートを基本とした、PDCAサイクル（計画・実行・評価・見直しのサイクル）による本市独自の行政評価システム「加須やぐるまマネジメントシステム」により実施します。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の基本方針

(1) 目的

加須市教育委員会が住民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を推進するため、自己点検評価を行います。

(2) 対象事業

加須市人づくりプランに位置付けられている教育委員会に関連する全ての事業（71事業）及び教育委員会運営事業など体系外の2事業を対象とします。

こども保育課	3事業	図書館課	6事業
教育総務課	10事業	学校教育課	30事業
生涯学習課	22事業	学校給食課	2事業
合計			73事業

(3) 対象期間

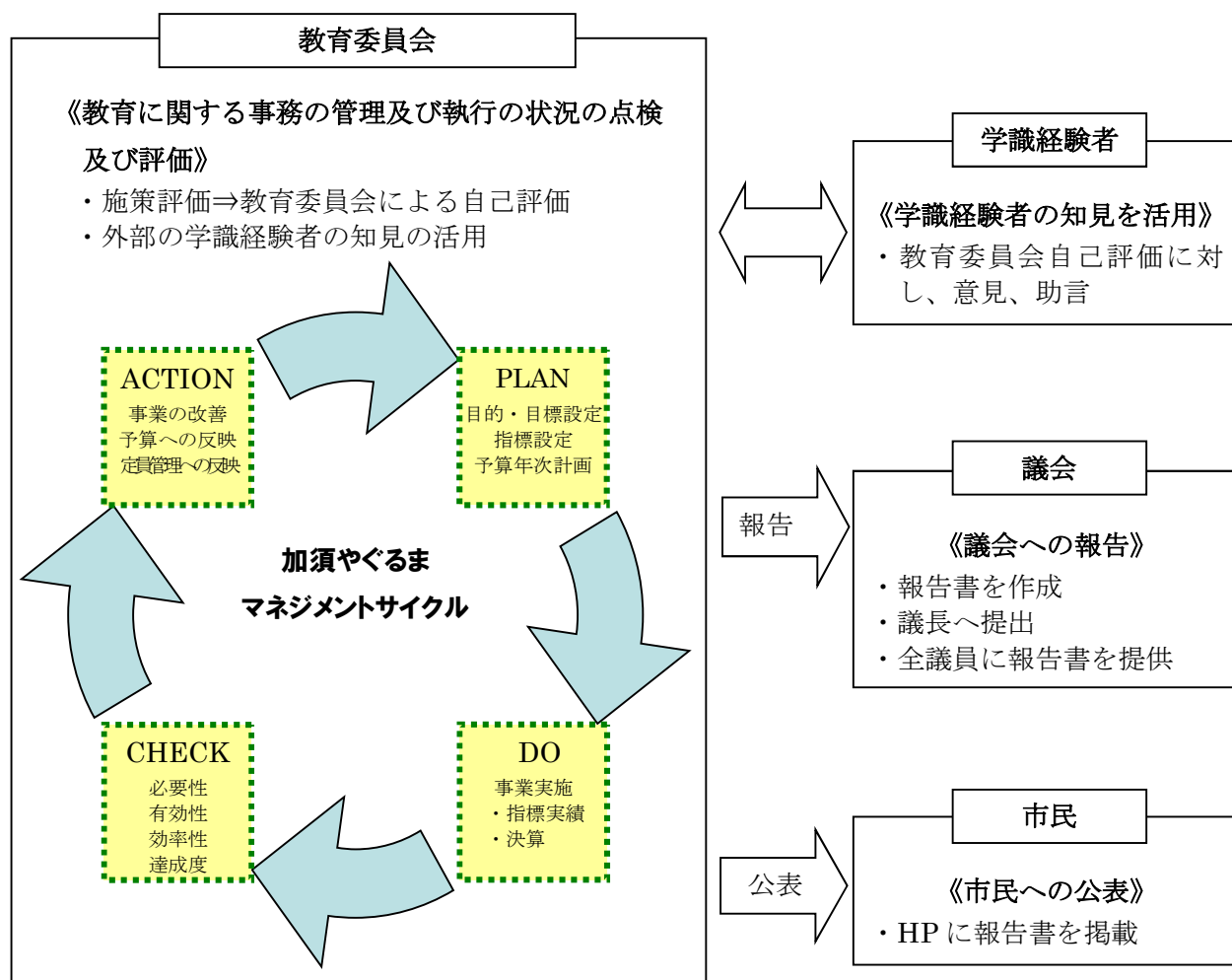
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(4) 実施方法

総合振興計画における評価基準を準用し、各事業の実績に基づき、達成度について自己評価を行うとともに、その評価を踏まえ、方向性を検討しました。

また、令和5年度の点検・評価に対し、学識経験者から意見・助言をいただいた事業の取組状況を検証し、これらを取りまとめました。

さらに、令和6年度の点検・評価に当たりましても、外部の学識経験者の意見や助言をいただき、今後の事業推進に活用してまいります。



3 令和6年度教育委員会関連事業一覧

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
01自ら学ぶ力と確かな学力を育成します						
01幼児教育の推進						
	0101-02	2131-16		幼稚園預かり保育事業		こども局こども保育課
	0101-03	2215-03		保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
02一人ひとりを伸ばす教育の推進						
	0102-01	2211-05		少人数学級推進事業		学校教育部学校教育課
	0102-02	2211-11		学力アップ事業		学校教育部学校教育課
	0102-03	2211-12		小学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-04	2211-13		中学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-05	2211-20		サイエンススクール事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-06	2211-30		小学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
	0102-07	2211-31		中学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
	0102-08	2211-32		生徒派遣援助事業		生涯学習部教育総務課
	0101-09	2215-03		保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
	0102-10	2314-04		ブックトーク・おはなし会開催事業	再掲	生涯学習部図書館課
	0102-11	2513-03		集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
03教職員の資質能力の向上						
	0103-01	2211-08		学校訪問指導事業	主	学校教育部学校教育課
	0103-02	2211-07		学習指導改善研究事業	主	学校教育部学校教育課
	0103-03	2211-15		教師用教科書・指導書措置事業		学校教育部学校教育課
	0103-04	2211-16		社会科副読本資料作成事業		学校教育部学校教育課
	0103-05	2212-02		教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課
04 I C Tを活用した教育の推進						
	0104-01	2211-09		学校 I C T教育活用事業	主	学校教育部学校教育課
05特別支援教育の推進						
	0105-01	2211-14		特別支援教育推進事業		学校教育部学校教育課
	0105-02	2211-25		小学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
	0105-03	2211-26		中学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
06学びを支える経済支援						
	0106-01	2211-21		小学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
	0106-02	2211-23		中学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
	0106-03	2211-27		河野博士育英事業		学校教育部学校教育課
07自立する力の育成						
	0107-04	2211-17		防災教育推進事業		学校教育部学校教育課
	0107-10	2211-22		学校グリーンカーテン事業		学校教育部学校教育課
	0107-15	2211-18		中学生夢創造チャレンジ事業	主	学校教育部学校教育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業		学校教育部学校教育課
		0107-17	2211-12	小学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0107-18	2211-13	中学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0107-19	2211-20	サイエンススクール事業	再掲	学校教育部学校教育課
02豊かな心を育む取組を推進します						
01いじめ対策の充実						
		0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	主	学校教育部学校教育課
		0201-02	2212-02	教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課
02不登校対策を中心とした教育相談の推進						
		0202-01	2212-02	教育センター運営事業	主	学校教育部学校教育課
		0202-02	2212-01	いじめ・不登校対策事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0101-03	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
03学校等における人権教育の推進						
		0203-01	2513-03	集会所管理運営事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0203-02	2511-04	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0203-03	2211-08	学校訪問指導事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0203-04	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
03安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します						
01安全・安心な給食の提供						
		0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	主	学校教育部学校給食課
		0301-02	2213-06	給食費収納対策事業		学校教育部学校給食課
02食育の推進						
		0302-01	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0302-02	2213-01	給食センター管理運営事業	再掲	学校教育部学校給食課
03健康の保持増進						
		0303-01	2213-02	小学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
		0303-02	2213-03	中学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
04質の高い教育のための環境づくりを推進します						
01安全で安心な教育環境の整備						
		0401-01	2214-01	小学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-02	2214-02	中学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-03	2141-01	公立幼稚園管理運営事業		こども局こども保育課
		0401-06	2214-03	学校教育管理事業		学校教育部学校教育課
		0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-09	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	主	こども局こども保育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
02学校 I C T環境の適正な管理						
		0402-01	2211-09	学校 I C T教育活用事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0402-02	2214-04	小学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0402-03	2214-05	中学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
03市立学校の適正な配置						
		0403-01	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0403-02	2214-04	小学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0403-03	2214-05	中学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0403-04	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	再掲	こども局こども保育課
		0403-05	2211-29	教育委員会事務局管理事業		生涯学習部教育総務課
05家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します						
01学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進						
		0501-01	2215-01	学校いきいきステーション事業	主	学校教育部学校教育課
		0501-02	2215-02	地域密着型教育広報事業		学校教育部学校教育課
		0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業		学校教育部学校教育課
		0501-04	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	主	学校教育部学校教育課
		0501-06	2215-05	家庭の学びと地域の絆推進事業		生涯学習部生涯学習課
		0501-09	2215-08	通学路安全対策事業		学校教育部学校教育課
		0501-21	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0501-22	2511-04	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0501-23	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
02子どもの健やかな成長の支援						
03青少年の健全育成の推進						
		0503-01	2215-17	二十歳の集い開催事業		生涯学習部生涯学習課
		0503-02	2215-07	青少年健全育成事業		生涯学習部生涯学習課
06生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります						
01生涯学習活動の推進						
		0601-01	2311-01	生涯学習推進計画策定事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-02	2311-02	生涯学習推進計画進行管理事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-03	2311-06	生涯学習管理事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-04	2311-03	生涯学習きっかけづくり支援事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-05	2311-04	市民学習カレッジ事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-06	2311-05	シニアいきいき大学事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-07	2311-09	文化・学習センター管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-08	2311-13	加須未来館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-12	2311-12	余裕教室等活用事業		生涯学習部生涯学習課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
02芸術文化の振興						
		0602-01	2312-03	文化・学習センター芸術文化振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-02	2312-01	地域文化振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-03	2312-02	地区文化祭振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-04	2312-04	偉人顕彰事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-06	2313-03	伝統文化継承支援事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
03文化財の保存継承による郷土愛の醸成						
		0603-01	2313-04	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0603-02	2313-02	加須インターネット博物館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0603-03	2313-03	伝統文化継承支援事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0603-04	2313-01	文化財の保存と活用による地域活性化事業		生涯学習部生涯学習課
04読書活動の推進						
		0604-02	2314-02	子ども読書活動推進計画進行管理事業		生涯学習部図書館課
		0604-03	2314-03	絵本との親子ふれあい事業		生涯学習部図書館課
		0604-04	2314-04	ブックトーク・おはなし会開催事業	主	生涯学習部図書館課
		0604-05	2314-05	図書資料整備充実事業		生涯学習部図書館課
		0604-06	2314-06	図書館管理運営事業		生涯学習部図書館課
		0604-07	2314-07	図書館まつり開催事業		生涯学習部図書館課
05人権教育の推進						
		0605-04	2511-04	人権教育推進事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0605-07	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
07スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります						
01スポーツ参画人口の拡大						
		0701-08	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0701-14	2215-01	学校いきいきステーション事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0701-22	2214-01	小学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0701-23	2214-02	中学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
体系外						
		—	2211-28	教育委員会運営事業		生涯学習部教育総務課
		—	2211-02	加須市人づくりプラン進行管理事業		生涯学習部教育総務課

4 各事業の点検評価

(1) 基本目標の達成度評価

総合振興計画における評価基準を準用し、各基本目標の達成度評価を行いました。

全73事業88指標のうち、「目標を達成」が25指標(28.4%)、「概ね達成」が23指標(26.1%)と、48指標については事業実施による効果を得ることができました。一方で、「やや遅れている」が27指標(30.7%)、「大幅に遅れている」が13指標(14.8%)ありました。これらの40指標については、現状の課題の分析を踏まえ、更なる取組が必要です。

【達成度評価の状況】

目標	達成度評価	区分	目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている	合計
基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します	概ね達成できた	指標数	11	8	9	1	29
		割合	37.9%	27.6%	31.0%	3.5%	—
基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します	達成できなかった	指標数	1	0	0	3	4
		割合	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	—
基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します	目標どおり達成できた	指標数	1	3	0	0	4
		割合	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	—
基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します	概ね達成できた	指標数	3	3	2	0	8
		割合	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	—
基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します	達成できなかった	指標数	3	2	3	2	10
		割合	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	—
基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります	達成できなかった	指標数	6	7	12	6	31
		割合	19.4%	22.5%	38.7%	19.4%	—
基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります	—	指標数	—	—	—	—	—
		割合	—	—	—	—	—
その他の教育事業	達成できなかった	指標数	0	0	1	1	2
		割合	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	—
合 計		指標数	25	23	27	13	88
		割合	28.4%	26.1%	30.7%	14.8%	—

※再掲を除く。

【基本目標の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
計画どおり達成できた	基本目標を構成する全ての事業（取組）において達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」であった。
概ね達成できた	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%以上であった。
やや達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%未満であった。
達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が50%未満であった。

【事業（取組）の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した。
概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。
やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の50%未満となったものをいう。

(2) 基本目標の取組状況

それぞれの基本目標における具体的な取組状況は、以下のとおりです。

基本目標1：自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

1人1台の学習用端末を文房具のように扱える児童生徒の育成を目指して、令和4年度から全ての児童生徒に家庭用の充電アダプターを貸与し、学習用端末の持ち帰りを可能にしました。持ち帰りが平時でも行われ、学校での学習と家庭での学習の連続性が図られ、学習用端末の更なる活用が促進されました。また、令和5年度にICT活用推進校として指定した4つの小・中学校に加え、新たに4つの小・中学校に研究指定を行いました。さらに、令和4年度から実施している実践研究に基づく成果や課題を共有するためのオンラインミニ講座「加須学びDX」について、令和6年度からオンデマンド型の配信を開始しました。いつでも、どこでも、何度でも視聴できる動画を作成し、1人1台端末の効果的な活用を市内各校に広めました。これにより学習用端末を活用した授業が推進され、児童生徒の端末を扱う技能が向上しました。

児童・生徒の端末を使う能力が向上したことで、端末を活用した多様で効果的な学習活動の展開が可能になりました。具体的には、自分の意見をすぐに共有することで、効果的な考えの比較・交流が可能となり、協働的な学びの実現につながりました。

例えば、算数科の授業においては、問題に対する答えを児童生徒が導き出し、解法や考え方などについて検討を行う場面で、端末を使って考えを即時共有することで、短時間で多くの考えを比較・検討することができるようになりました。一部の児童の考えだけでなく、多くの児童の考えを共有することで、自分が思いつかなかった解決方法を知ることができたり、他者の考えをヒントとして自力解決の助けとしたりすることで、深い学びにつなげることができました。

思考力・判断力・表現力の育成を目指した「加須市チャレンジシート」の全小・中学校への教材の提供、「加須まなびTime」の実施による生徒への学びの機会の提供を行うほか、各校の学力向上に係る代表者で組織する加須市教育課程検討委員会を定期的に開催し、加須市の課題を共有し現状を踏まえた学力向上の取組に係る協議を行いました。

また、埼玉県学力・学習状況調査のCBT化に伴い、「加須市チャレンジテスト」をCBTで実施しました。さらに、加須市独自の分析シートを活用して結果を考察することにより、自校の課題を明確にする支援を行いました。そのため、各校の課題解決に向けた取組が充実し、確かな学力の育成につながりました。

小・中学校における学習指導の充実を図るための人的な支援として、教育活動補助員を配置しました。これにより、少人数指導やティームティーチングでの授業、きめ細かな学習指導が展開されました。さらに、小学校22校にスクール・サポート・スタッフを配置し、教員が教育活動に専念できる環境を整備したことにより、時間外在校等時間が減少するなど学校における働き方改革の推進につながりました。

小学校への外国語活動指導助手(AFT)及び中学校への外国語指導助手(ALT)の配置により、英語教育の充実を図りました。また、障がい児介助員を適切に配置し、支援を必要とする児童生徒一人一人にきめ細かな支援を行いました。

その他にも、「加須市防災ノート」を活用した防災学習の充実や災害時における中学生ボランティアリーダー研修会の実施など、加須市の特色をいかしてこどもたちの自ら学ぶ力を育むための多様な学びを実現する資料の作成や環境整備を行いました。

市立幼稚園、市立保育所では、幼児の生活の場の広がりやその関わり合いによって豊かな体験が得られる機会となるよう、保育所と幼稚園の交流や小学校教育への円滑な接続のための小学校との交流を行いました。また、教育・保育の質の向上のため、職員研修の機会を確保しました。

市立幼稚園では、個に応じた環境づくりを工夫し、小学校以降の学習の基盤を培うため、幼児の主体的な遊びを十分に確保しました。また、保育時間の延長が必要な幼児に対しては、休園中の園を除く全園で預かり保育を実施し、幼児たちが家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごせる場を提供しました。さらに、令和7年3月には、3歳児の預かり保育を試行的に実施しました。

基本目標2：豊かな心を育む取組を推進します

各小・中学校において、いじめや不登校の未然防止のため、一人一人の教育的ニーズに応じた校内での指導・支援体制を充実させるとともに、家庭への啓発及び地域との連携を深めるために、加須市立教育センターを核とした支援を推進しました。教育センターには、相談員やスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置するとともに、不登校児童生徒の生活改善を図り、どこにもつながらない児童生徒を0にすることを目指すための「加須学びサポート『ピア』」を運営し、学校復帰を目指したソーシャルスキルトレーニング等の学習活動の工夫や環境づくりを行いました。また、引きこもりがちな不登校児童生徒へ教育センターからのオンラインによる学習支援として「加須学びリンク『ピア』」を運営しました。さらに、不登校傾向の児童生徒の交流の場、居場所づくりを目的とした「加須ステップ『ピア』」を運営しました。加えて、不登校児童生徒の保護者を対象として、抱えている悩み等の共有や交流を目的とした「ハート・ピア」を開催しました。

学校教育全体を通じて行う道徳教育の充実については、要となる授業力向上のため、夏季教職員研修会で指導法の研修も行いました。

また、人権教育の充実のために、「学校人権教育計画訪問」の実施による教職員の人権感覚の向上、「加須市初任者人権研修」及び「加須市立教育センター人権研修（オンライン）」による若手教職員の研修の充実、「学校人権教育指導資料51集の発刊」による授業実践の共有を図りました。各教員が日常の教育活動に活かし、児童生徒の豊かな心の育成につなげました。

さらに、外国籍の児童生徒に対して日本語授業を充実させ、日本の生活習慣や文化を教え、文化の違いを受け入れ、思いやりをもって学校生活を送るために支援しました。

基本目標3：安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

学校給食については、地場産野菜を積極的に活用しながら、栄養バランスに配慮した安全安心な給食をこどもたちに提供しました。

なお、事故等による給食停止は発生せず、すべての学校給食提供日に給食が提供できました。

また、物価高騰の影響を大きく受けている児童・生徒の保護者に対し、学校給食費を5箇月間、一時的に免除するとともに、免除期間中に市立学校給食センターから提供される給食を喫食しなかった児童・生徒の保護者を支援するため、「ちょこっとおたすけ絆サポート券」（児童・生徒一人につき1万円分）を配布しました。

さらに、物価高騰により、学校給食の食材価格への影響が出ているなか、保護者の経済的負担を増やすことなく、引き続き、質や量を確保した学校給食が提供できるよう賄材料費の高騰分を支援しました。

給食費については、滞納している家庭に、早期納付の働きかけを行った結果、現年度分の収納率は99.94%となりました。

児童生徒の食に対する理解を深め、健やかな体の育成を図るため、栄養教諭を学校に派遣して食育に係る授業を実施しました。学校保健安全法に基づく児童生徒の健康診断（内科検診、歯科健診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）等について、計画的に実施しました。教職員については、健康診断、胃がん・大腸がん検診を実施したことに加え、ストレスチェックにより、心身の健康状態についての管理を行いました。

基本目標4：質の高い教育のための環境づくりを推進します

元和小学校の児童数増加に伴う教室不足及び放課後児童健全育成室の利用児童数増加に対応するため、令和5年度に着手した校舎の増築工事が完成しました。

また、市立幼稚園及び小・中学校の適正な維持管理を行うとともに、必要な修繕を実施することで適切な学校・園の運営を確保しました。

市立小中学校のあり方については、令和6年8月に「加須市立小中学校の適正規模・適正配置に係る基本方針」策定のための基本的な考え方を教育委員会において決定し、本市の現状や学校評議員の意見、今後の進め方なども含めて、広報かぞや市ホームページ等に掲載して広く市民へ周知しました。

さらに、この基本的な考え方を基にして、総合教育会議や教育委員との意見交換の場において議論を重ねるなど基本方針の策定に取り組みました。

市立幼稚園における非構造部材の耐震化対策については、実施計画に基づき計画的に取り組み、令和6年度は3園で実施しました。

市立幼稚園は、地域の幼児教育の拠点として、良質な教育の提供の維持・向上を図るため、令和5年に策定した「加須市立幼稚園再編計画」に基づき、令和6年度は8園体制で運営しました。

学校ICT環境を適正に維持管理し、児童生徒1人1台端末を学習活動で有効活用するため、ICT支援員を配置しました。なお、ICT活用推進校（8校）による研究から見てきた課題等を集約し、今後の改善に向けた検討を行いました。

基本目標5：家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

家族・地域の絆づくりを一層推進するための「あいさつ運動」に、各校（園）が取

り組みました。また、加須市民平和祭及び加須市民まつりにおいて、青少年市民会議の皆様にご協力をいただき、あいさつ運動キャンペーンを行いました。

また、「家庭の教育力」の向上を図るため、家庭教育学級・子育て学級などを開催し、家庭教育支援の充実を図りました。

さらに、昭和中学校区の4校で学校運営協議会（コミュニティスクール）を先行導入しました。令和7年度の全小・中学校導入に向けて、取組の成果と課題を整理し、共有しました。

全幼稚園及び全小・中学校に、「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、ボランティアからなる「幼稚園応援団・学校応援団」を組織しました。令和6年度は、合計で2,703名の応援団の方に協力をいただきました。

保・幼・小中一貫での活動の充実を図り、こどもたちに豊かな人間性や社会性を育むための教育を推進しました。中学校区リンクミーティングを活用し、各園・校が積極的な連携を図れるよう協議しました。

基本目標6：生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

加須市生涯学習市民企画委員や生涯学習推進員と連携し、生涯学習セミナーや市民学習カレッジを企画し、56セミナーを実施しました。また、その学習成果を発表・展示する、かぞ生涯学習フェスティバル、地域文化祭・地区文化祭及び市民音楽祭を開催し、芸術文化の交流活動の充実を図りました。さらに、平成国際大学と連携して、加須市シニアいきいき大学（60歳以上）と加須市ミドルアップ大学（30代～50代）を開講し、専門的な学びを求める市民に学習活動の場を提供しました。

また、加須の偉人7人の等身大パネルを活用してイベント等での展示や、斎藤与里の絵画の実物大写真パネル（9点）をクラウドファンディングによって制作するなどし、市民の郷土の偉人への愛着心が醸成されるよう取り組みました。

文化・学習センターでは、コンサートや映画上映会等の自主事業等を実施するほか、貸館事業を行い、芸術文化の振興を図りました。

人権教育では、人権問題指導者研修会や人権問題講演会、人権啓発展等を開催し、家庭、地域社会における人権意識の向上を図りました。

図書館では、誰もが親しみやすい図書館を目指し、親子講座、ボランティア養成講座、図書館まつり、定例おはなし会、工夫を凝らした各種展示を実施しています。

また、乳幼児期のサービスとして「知育絵本（世界にひとつだけの絵本）」の配布、学童期の学校支援として図書館見学の受入れや出張図書館見学、ブックトークやビブリオバトル、こども司書講座の開催、青少年期のサービスとして進路コーナーの設置などを行いました。

資料についても、市民のニーズに応え、一般書や児童書の購入、郷土資料の受入をした他、大活字本やLLブックなどのバリアフリー図書を購入して蔵書の充実を図りました。

さらに、図書館で所蔵している本の中からおすすめの本をまとめたブックリストを配布し、子育て配信メールを活用して子育てに役立つ本の情報提供を行うなど、こどもが本にふれあう機会を設けるとともに、乳児から一般の方を対象にした借りた本を

記録できる読書ノートを配布して、幅広い年代に向けた読書活動の推進を図りました。

(3) 各事業の達成度評価

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策1 幼児教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
1	こども保育課	1・目標を達成	指標(単位)	預かり保育受入率 (%)							・引き続き、預かり保育を実施し、子育て支援につなげる。 ・令和7年度から長期休業日中預かり保育の利用希望者に対し、加須市立花崎北幼稚園において試行的に実施する。	
	総振CD		2131-16	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD		0101-02	目標		100	100	100	100	100		
	幼稚園預かり保育事業		実績	100	100	100	100	100				
	予算額		11,335千円	・保護者の就労等により利用希望のあった8園で、希望者全員（延べ7,091人）の預かり保育を実施し、子育て支援を行ったため、「目標を達成」と評価した。								
	決算額		9,550千円									
	執行率		84%									

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
2	学校教育課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	教育活動補助員の配置状況 (%)							・令和7年度から中学校で36人以上の学年に教育活動補助員を配置する。 ・教育活動補助員配置校に指導主事が訪問し、適切な運用がなされるための確認・指導を行う。 ・学級担任とのチームティーチングや少人数指導により、個に応じた学習指導や生活指導が適切に行えるように、指導主事が訪問し、教育活動補助員の適切な補助業務について指導助言を行います。 ・児童生徒と関わる時間の増加による個別学習の推進、心の安定を図り、生徒指導を推進する。	
	総振CD		2211-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD		0102-01	目標		100	100	100	100	100		
	少人数学級推進事業		実績	100	100	92	92	68				
	予算額		38,067千円	・1学級内の人数が多い学級(小学校31人以上、中学校39人以上)に教育活動補助員を配置することができた。教育活動補助員配置校に指導主事が訪問し、適切な運用がなされているかを確認した。教育活動補助員を配置し、チームティーチングや少人数指導を行うことにより、個に応じた学習指導や生活指導の充実を図ることができた。配置基準を満たした学級のある25学年のうち、17学年に配置することができたが、未配置だった学校もあったため、「やや遅れている」と評価した。								
	決算額		25,385千円									
	執行率		67%									
3	学校教育課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合(児童) (%)							・CBTによるチャレンジテスト等を実施し、児童の学力向上を図る。 ・学校教育課が、加須市独自の分析シートを作成し、各校へ作成を依頼する。各校で分析シートを活用し、自校の課題解決に向けた取組を進める。	
	総振CD		2211-11	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD		0102-02	目標		101	101	101	101	101		
	学力アップ事業		実績	－	98	97	95	98				
	予算額		3,417千円	・各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対してきめ細かな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの、市平均正答率が県平均正答率を下回ったため「やや遅れている」と評価した。								
	決算額	2,281千円	3・ やや遅 れている	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合(生徒) (%)							・CBTによる加須市チャレンジテストや「加須まなびTime」等を実施し、生徒の学力向上を図る。 ・各校において学力分析シートを作成し、自校の課題解決に向けた取組に努める。 ・まなびtimeを充実させることで、学習機会の確保に努める。
	執行率	67%		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
		目標			101	101	101	101	101	101		
		実績		－	96	95	92	89				
		・各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対してきめ細かな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの、市平均正答率が県平均正答率を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。										

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位)	小学校外国語活動の目標をおおむね達成した5、6年生児童の割合（令和2年度：小学校外国語科の目標を十分達成した5、6年生の児童の割合）（%）							・3、4年生の外国語活動においては、授業者と外国語活動指導助手とのチームティーチングを計画的に実施し、年間授業時数35時間を確保するとともに、チームティーチングの充実のための指導や研修を実施する。 ・5、6年生の外国語科においては、担任と外国語活動指導助手とのチームティーチングを計画的に実施し、年間授業時数70時間を確保するとともに、チームティーチングの充実のための指導や研修を実施する。 ・英語教育研究員が小学校を学期に1度訪問し、担任や外国語活動指導助手への授業支援や指導を行う。 ・小学校の教員が中学校英語の授業を参観する研修会への参加を積極的に促し、指導力の向上や小・中学校の一層の連携を図る。 ・外国語に興味関心が高い児童をさらに伸ばすため、小学5年生から中学2年生を対象にイングリッシュサマーキャンプを実施する。
	総振CD		2211-12	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度（決算）	7年度（目標年）	
	プランCD		0102-03	目標		50	60	60	60	60	
	小学校英語教育推進事業		実績	44	45	59	57	90			
	・授業者と外国語活動指導助手とのチームティーチングの充実により、外国語科の目標をおおむね達成している児童の割合が、目標値に達しているため、「目標を達成」と評価した。										
	2・概ね達成	指標(単位)	外国語活動が楽しいと感じている児童の割合（平成28年度～令和元年度は5、6年生、令和2年度以降は3、4年生）（%）								
		総振CD	2211-12	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度（決算）	7年度（目標年）	
		プランCD	0102-03	目標		100	100	100	100	100	
		小学校英語教育推進事業	実績	92	91	98	92	96			
		・授業者と外国語活動指導助手とのチームティーチングの充実により、外国語活動が楽しいと感じている児童の割合が、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。									
予算額	25,073千円										
決算額	25,050千円										
執行率	100%										
5	学校教育課	3・やや遅れている	指標(単位)	英語検定3級程度の英語力を有する中3生徒の割合（%）							・英語教育研究員が全ての市立中学校を学期に2度訪問し、英語教員と外国語指導助手の授業支援や指導を行って授業力の向上を図る。 ・英語教員の授業力向上のための研修会、小学校と中学校の連携を図るための研修会の一層の充実を図る。 ・興味関心が高い生徒の英語力をさらに伸ばすため、イングリッシュサマーキャンプを実施する。 ・英検の助成事業や試験対策講座を実施し、英検3級取得者数を増やす。
	総振CD		2211-13	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度（決算）	7年度（目標年）	
	プランCD		0102-04	目標		50	50	50	50	50	
	中学校英語教育推進事業		実績	42	33	40	32	37			
	・学期に1回行っている英語教育研究員の訪問により、英語教員と外国語指導助手への授業支援を行ったが目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・外国語指導助手の研修会を通して、担当教員との連携が円滑になった。										
	予算額	28,472千円									
	決算額	28,102千円									
	執行率	99%									
6	学校教育課	1・目標を達成	指標(単位)	未来館学習による理科に関する興味・関心をもった児童の割合（%）							・市立小学校4年生を対象に加須未来館を活用した学習を行うことができた。今後は、小小連携の観点から、近隣の小学校同士と一緒に学習できるように計画していく。
	総振CD		2211-20	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度（決算）	7年度（目標年）	
	プランCD		0102-05	目標		95	95	95	95	95	
	サイエンススクール事業		実績	－	0	69	91	95			
	・市内全22の小学校において、加須未来館を活用したサイエンススクールを行った。プラネタリウムの鑑賞や、未来館職員による天体の学習は、小学校4年生にとって宇宙に興味をもつとともに、市内公共施設に触れるよいきっかけとなっているため「目標を達成」と評価した。										
	予算額	1,513千円									
	決算額	1,438千円									
	執行率	95%									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
7	教育総務課	2・概ね達成	指標(単位)	小学校理科備品の整備率 (%)							・理科実験備品を適切に整備するとともに適正な廃棄に努め、整備率の向上を図る。 ・学校間で整備率に差が生じていることから、今後も引き続き、整備率の低い学校に重点を置きながら、国庫補助金を活用して、加須市全体の理科備品の整備率の向上を図る。	
	総振CD		2211-30	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD		0102-06	目標			77.4	77.7	78.0	78.3		78.6
	小学校教材用備品整備事業		実績	76.9	76.6	75.8	74.6	73.5				
	・小学校各校が使用の可否を精査して備品を整理、廃棄したことで購入額が廃棄額を下回り、令和5年度から下降した。整備率としては目標値を下回ったものの、概ね目標値に近い水準であることから、「概ね達成」と評価した。 ・整備率の低い騎西及び北川辺地域に重点を置きながら、各小学校に要望どおり備品整備を行った。 ・国庫補助金を活用して理科備品の整備を行った。											
	予算額		2,989千円									
	決算額		2,757千円									
	執行率	92%										
8	教育総務課	2・概ね達成	指標(単位)	中学校理科備品の整備率 (%)							・理科実験備品を適切に整備するとともに適正な廃棄に努め、整備率の向上を図る。 ・学校間で整備率に差が生じていることから、今後も引き続き、整備率の低い学校に重点を置きながら、国庫補助金を活用して、加須市全体の理科備品の整備率の向上を図る。	
	総振CD		2211-31	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD		0102-07	目標			83.9	84.2	84.5	84.8		85.1
	中学校教材用備品整備事業		実績	80.5	83.4	82.8	81.6	80.5				
	・中学校各校が使用の可否を精査して備品を整理、廃棄したことで購入額が廃棄額を下回り、令和5年度から下降した。整備率は目標値を下回ったものの、概ね目標値に近い水準であることから、「概ね達成」と評価した。 ・整備率の低い騎西及び北川辺地域に重点を置きながら、各中学校に要望どおり備品整備を行った。 ・国庫補助金を活用して理科備品の整備を行った。											
	予算額		1,604千円									
	決算額		1,572千円									
	執行率	98%										
9	教育総務課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	生徒派遣費補助金の交付件数 (件)							・各種スポーツ及び文化活動の振興を図り、交付件数の増加に努める。 ・今後も引き続き、市内中学校に制度の周知を行い、補助金の活用を促すとともに、大会参加に伴う自己負担が生じないよう適正な補助金の交付を行う。	
	総振CD		2211-32	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD		0102-08	目標			12	12	12	12		12
	生徒派遣援助事業		実績	0	9	8	8	5				
	・各学校へ制度について周知し、関東大会、全国大会に出場した5件(23人)に対し、自己負担が生じないよう派遣費を補助した。交付件数が目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。											
	予算額		800千円									
	決算額		588千円									
	執行率	74%										

施策3 教職員の資質能力の向上

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
10	学校教育課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に 対する市平均正答率の割合（児童生徒）（％）							・学校訪問の際に、調査の分析結 果に触れながら、授業改善に関す る具体的な指導を行う。 ・特に学力を伸ばしている学校や 教員の取組を市内で共有し、指導 力の向上に繋げる。	
	総振 CD		2211-08	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0103-01	目標		101	101	101	101	101		
	学校訪問指導事業		実績	－	97	96	93	97				
			・各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実 施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対して きめ細かな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの、市平均 正答率が県平均正答率を下回ったため「やや遅れている」と評価し た。									
			1・ 目標を達 成	指標(単位)	学校訪問回数（回）							・各幼稚園及び小・中学校の二一 ズに応じ、指導主事及び指導委員 の派遣を適切に行い、きめ細かい 指導につなげる。 ・指導内容については、教員の 「授業改善」「学級経営の充実」 や幼児、児童生徒の「学習意欲の 向上」に向けた指導を意図的に実 施する。
	年度	2年度		3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)				
	目標			215	200	200	200	200				
	実績	164		125	193	232	287					
				・計画どおりに実施でき、事業の推進を通して、児童生徒の学習習 慣の確立が図られている。目標値に達しているため、「目標を達成 」と評価した。 ・教職員への指導・助言を通して、学校の教育力向上につなげるこ とができたため「目標を達成」と評価した。								
予算額		42千円										
決算額		27千円										
執行率		64％										
11	学校教育課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に 対する市平均正答率の割合（児童生徒）（％）							・C B Tによる加須市チャレンジ テスト等を実施し、児童の学力向 上を図る。 ・各校において学力分析シートを 作成し、自校の課題解決に向けた 取組に努める。 ・特に学力を伸ばしている学校や 教員の取組を市内で共有し、指導 力の向上に繋げる。	
	総振 CD		2211-07	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0103-02	目標		101	101	101	101	101		
	学習指導改善研究事業		実績	－	97	96	93	98				
			・各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実 施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対して きめ細かな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの、市平均 正答率が県平均正答率を下回ったため「やや遅れている」と評価 した。									
			2・ 概ね達 成	指標(単位)	体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク (A+B+C)の児童生徒の割合（％）							・体力向上推進委員会を開催し、 体育授業の充実に努めるととも に、家庭との連携を図り、児童生 徒が体を動かす機会を作ること を促す。
	年度	2年度		3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)				
	目標			82	82	82	82	82				
	実績	－		82	80	78	78					
				学校の働き方改革等により、運動機会が減少したことで、体力テス トの結果は目標値には至らなかったものの、目標値にほぼ達してい るため「概ね達成」と評価した。								
予算額		4,564千円										
決算額		4,579千円										
執行率		100％										

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
12	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位)	学級増、教員増の学校へ教師用教科書及び指導書を配布した割合(%)							・令和7年度は改訂となった中学校用教科用図書について、全ての中学校に教師用教科書及び指導書を配布した上で、適切に学級の増設や教員の増員で必要となる教師用教科書及び指導書の措置を行う。
	総振CD		2211-15	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0103-03	目標		100	100	100	100	100	
	教師用教科書・指導書措置事業		実績	100	100	100	100	100			
	予算額		57,973千円	・学級の増設や教員の増員で必要となった教師用教科書及び指導書を措置することができた。学級増・教員増を可能な限り正確に予測して予算を要求するとともに、学校と連絡を密にすることで適切に処理することができたため「目標達成」と評価した。							
	決算額		56,052千円								
	執行率		97%								
13	学校教育課	3・ やや遅れている	指標(単位)	加須市に対する理解が深まった児童の割合(%)							・令和6年度は、令和7年度の改訂で、児童が思考力、判断力、表現力をより身につけられるよう、全小中学校にアンケートを実施し、社会科の授業を担当している教員から改訂に対する意見を集めた。令和7年度はそれらの意見をいかして、より、児童にとって学びやすい副読本になるよう改訂をすすめる。
	総振CD		2211-16	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0103-04	目標		80	80	80	80	80	
	社会科副読本資料作成事業		実績	73	68	69	69	53			
	予算額		12千円	・加須市に対する理解が深まった児童の割合を、評価テストの平均正答率が8割を超えている児童の割合で算定している。令和6年度は目標に届かなかったため、「やや遅れている」と評価した。評価テストには、加須市に対する知識だけでなく、社会科の目標に対する到達度を問う問題も含まれている。目標を達成するには全体的な学力の向上が必要である。							
	決算額		0千円								
	執行率		0%								

施策4 ICTを活用した教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
14	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位)	ICTを活用して効果的な指導ができる教員の割合 (%)							・引き続き、ICTを活用した効果的な指導方法を教員に周知する。 また、様々な指導方法を紹介することで、効果的な指導ができると感じる教員を増やしていく活動を続けていく。 ・教員のICT活用指導力向上を目指し、加須市小・中学校ICT教育推進委員会で指導方法の研究を進める。
	総振CD 2211-09		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD 0104-01		目標		95	95	100	100	100		
	学校ICT教育活用事業		実績		84	81	82	87			
			・継続的に研修を重ね、数値が目標値に近づいているため、「概ね達成」と評価した。 ・ミニオンライン研修会「かそ学びDXオンデマンド」を活用し、若手からベテランまで、様々な教職員が端末を活用した学習指導を行うことができたため「概ね達成」とした。								
		1・目標を達成	指標(単位)	ICTを活用して情報活用能力を発揮できる児童生徒の割合 (上段：児童の数値 下段：生徒の数値) (%)							・授業での活用事例を多く提供することで、児童生徒が端末を活用する機会を増やすことができた。 情報活用能力のさらなる育成を目指し、ICT教育の充実を図る。
	予算額		94,670千円	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	決算額		94,469千円	目標		65 70	70 75	75 80	80 85	100 100	
	執行率		100%	実績	- 94	97 99	96 99	99 98	97 100		
	・各小・中学校において、一人一台端末を活用した授業が推進できた。 ・授業で活用する機会が多くもてたことから、児童生徒が端末を扱う技能が向上したと感じ、「できる」「ほぼできる」と回答したことで「目標を達成」と評価した。										

施策5 特別支援教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
15	学校教育課	3・ やや 遅れ てい る	指標(単位)	ことばの教室（構音障害）修了者の割合（％）							・就学時健康診断において、各小 学校で実施する特別支援教育につ いて情報提供を行い特別支援教育 に関する理解を深める。 ・言語聴覚士による支援を充実さ せる。
	総振 CD		2211-14	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 （決算）	7年度 （目標年）	
	プラン CD		0105-01	目標		95	95	95	95	95	
	特別支援教育推進事業		実績	62	53	57	62	60			
	・構音障害の令和6年度当初開始児童数が70名、正しく発音できる ようになり修了した児童が42名であったため、「やや遅れてい る」と評価した。 ・6年度当初開始児童数 70名（構音障害） 10名（吃音） 4 名（難聴）										
	予算額		130,830千円								
	決算額		122,982千円								
	執行率	94％									
16	学校教育課	1・ 目標 を達 成	指標(単位)	就学奨励費の支給率（％）							・特別支援学級に在籍する児童の 保護者に対して、制度の周知を徹 底する。 ・制度の対象児童については、増 加傾向であるため、確実な支給に 努める。
	総振 CD		2211-25	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 （決算）	7年度 （目標年）	
	プラン CD		0105-02	目標		100	100	100	100	100	
	小学校特別支援教育就 学奨励事業		実績	100	100	100	100	100			
	・特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、各学校の協力を得 ながら制度の周知を行い、目標を達成することができた。 ・保護者及び学校から提出された資料に基づき、就学奨励費を計算 し支給することで、学校生活に係る経費について保護者の経済的負 担の軽減を図った。										
	予算額		5,581千円								
	決算額		4,259千円								
	執行率	76％									
17	学校教育課	1・ 目標 を達 成	指標(単位)	就学奨励費の支給率（％）							・特別支援学級に在籍する生徒の 保護者に対して、制度の周知を徹 底する。 ・制度の対象生徒については、増 加傾向であるため、確実な支給に 努める。
	総振 CD		2211-26	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 （決算）	7年度 （目標年）	
	プラン CD		0105-03	目標		100	100	100	100	100	
	中学校特別支援教育就 学奨励事業		実績	100	100	100	100	100			
	・特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、各学校の協力を得 ながら制度の周知を行い、目標を達成することができた。 ・保護者及び学校から提出された資料に基づき、就学奨励費を計算 し支給することで、学校生活に係る経費について保護者の経済的負 担の軽減を図った。										
	予算額		5,335千円								
	決算額		3,355千円								
	執行率	63％									

施策6 学びを支える経済支援

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
18	学校教育課	1・目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率 (%)							・引き続き、制度の周知を徹底しながら、迅速で正確な事務処理に努めていく。
	総振CD		2211-21	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0106-01	目標		100	100	100	100	100	
	小学校就学援助事業		実績	100	100	100	100	100			
	・全校児童の案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者への支援ができ、目標を達成することができた。										
	予算額		33,238千円								
	決算額		31,205千円								
	執行率	94%									

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
19	学校教育課		1・ 目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率(%)							・引き続き、制度の周知を徹底しながら、迅速で正確な事務処理に努めていく。
	総振CD	2211-23		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0106-02		目標		100	100	100	100	100		
	中学校就学援助事業			実績	100	100	100	100	100			
	・全校生徒への案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者への支援ができ、目標を達成することができた。											
	予算額	40,014千円										
	決算額	35,445千円										
	執行率	89%										
20	学校教育課		2・ 概ね達成	指標(単位)	新規に採用する奨学生の人数(人)							・学力が優秀でありながら経済的理由で就学が困難な生徒に、適正に奨学金を給与する。当事業を3年生だけでなく、1、2年生の家庭にも広め、奨学金を必要としている家庭に給与できるように努める。
	総振CD	2211-27		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0106-03		目標		10	15	15	15	15		
	河野博士育英事業			実績	9	11	15	15	13			
	・選考委員会における協議の結果、奨学生応募者を全員採用することができた。中学3年生の生徒や保護者に学校を通じて周知をしたほか、広報かぞやホームページにおいても広報活動をした結果、認知度は高まったが、15名以上の応募が集まらなかったため「概ね達成」と評価した。											
	予算額	5,273千円										
	決算額	5,101千円										
	執行率	97%										

施策7 自立する力の育成

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
21	学校教育課		1・ 目標を達成	指標(単位)	市内各幼稚園及び小・中学校における「加須市防災教育指導資料」の活用率 (%)							・各校において、加須市防災教育指導資料や防災ノートの活用が図られた。 ・今後は、加須市防災教育指導資料や防災ノートを活用した授業実践等を共有し、さらなる活用及び防災教育の充実を図る。
	総振CD	2211-17		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-04		目標			100	100	100	100	100	
	防災教育推進事業			実績	100	100	100	100	100			
	予算額			1,310千円	・全ての小中学校で「加須市防災教育指導資料」を活用することができているため、「目標を達成」と評価した。避難訓練の実施依頼とともに加須市防災教育指導資料や防災ノートの活用方法を示すことで、確実な実践に結びつけることができた。							
	決算額			1,021千円								
	執行率			78%								
22	学校教育課		2・ 概ね達成	指標(単位)	環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合 (%)							・学校、地域の実態に合わせて環境教育を進められるように連携を図る。
	総振CD	2211-22		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-10		目標			95	95	95	95	95	
	学校グリーンカーテン事業			実績	－	－	－	－	－			
	予算額			0千円	・すべての学校・園においてグリーンカーテンや学校ファームを設置したため、「概ね達成」と評価した。 ・JAから支給される種苗等の活用を呼びかけるなど、環境教育の啓発を進めた。							
	決算額			0千円								
	執行率			－								

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
23	学校教育課		3・ やや 遅れ てい る	指標(単位)	ふれあい講演会を実施した中学校の割合 (%)							・市立中学校でのふれあい講演会の実施のための支援を行う。 ・平成28年度以降、市費により後援会費用の支援を行っている。講演会は、生徒一人一人の将来の夢や希望について考えることのできるよいキャリア形成の機会となっていることや、児童生徒の学力向上との関連から、今後も支援を継続する。 ・令和7年度は支援額を増額して実施する。
	総振CD	2211-18		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-15		目標		100	100	100	100	100		
	中学生夢創造チャレンジ事業			実績	38	50	50	75	75			
	・「ふれあい講演会」の実施割合が目標を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・「ふれあい講演会」未実施の学校も、埼玉県の実業を活用するなどして、生き方に関わる講演会を実施した。 ・地域人材等を活用し、キャリア教育に係る講演を聴く機会を確保することで、こどもたちの「生き方指導」という観点から進路・キャリア教育を充実させることができた。											
	予算額	440千円										
	決算額	372千円										
	執行率	85%										
24	学校教育課		2・ 概ね 達成	指標(単位)	市職員の派遣を要請した回数 (回)							・各学校に本事業の活動事例を周知し、他課と十分な連携を行いながら、より効果的な人材活用を図る。
	総振CD	2211-19		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-16		目標		10	10	10	10	10		
	市職員マンパワー活用事業			実績	2	3	3	5	9			
	・生命尊重や安全・防災講話など、学校のニーズに応じて対応し、前年と比べ目標に大きく近づいたため「概ね達成」と評価した。											
	予算額	0千円										
	決算額	0千円										
	執行率	—										

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

施策1 いじめ対策の充実

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
25	学校教育課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	不登校児童の割合（小学校）（％）							・不登校問題対策委員会の実施及び指導主事学校訪問により学校との連携を図る。 ・不登校防止プランを作成し、実効的な取組を各校に指示する。 ・埼玉県教育委員会が発行した『一人一人の社会的自立に向けた児童生徒支援ガイドブック』を周知し、各校に積極的な活用を求める。 ・新たな不登校児童生徒をつくらない観点から、各校において不登校予防のための策を改めて見直させ、実践させる。 ・加須市立教育センターに通級する児童生徒の学習を支援する加須学びサポート「ピア」、オンラインで児童生徒の学習を支援する加須学びリンク「ピア」、児童生徒の交流や居場所づくりを目的とした加須ステップ「ピア」といった多様な学びの場の整備と周知、活用を図る。 ・不登校を考える保護者の会「ハート・ピア」を開催し、不登校の児童生徒をもつ保護者を支援する。 ・いじめ対策連絡協議会を実施することによる支援体制を構築する。 ・いじめの重大事態の調査に関するガイドラインの改訂に伴う校長・園長研究協議会における学校への情報提供と各校での初期対応の重要性を指示する。 ・第2回、第3回いじめ撲滅期間の取組を実施する。	
	総振CD		2212-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度（決算）	7年度（目標年）		
	プランCD		0201-01	目標		0	0	0	0	0		
	いじめ・不登校対策事業		実績	0.43	0.53	0.78	1.08	1.14				
			・不登校問題対策委員会において講演や事例研究等を行い、各校で不登校対策を進めたものの、埼玉県全体の傾向と同様に、不登校児童数が過去最多となった。 ・令和6年度末の調査から不登校児童の理由で最も多かった事由は『無気力』次いで『親子関係に起因するもの』であった。 ・学校や学級に更に魅力を持たせることが重要であると考えられる。 ・不登校生徒の増加に伴い、評価を「大幅に遅れている」と評価した。									
			4・大幅に遅れている	指標(単位)	不登校生徒の割合（中学校）（％）							
				年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度（決算）	7年度（目標年）		
				目標		0	0	0	0	0		
				実績	3.66	3.93	5.90	7.48	7.19			
				・不登校問題対策委員会において講演や事例研究等を行い、各校で不登校対策を進めた結果、令和5年度の実績より減少した。しかしながら、依然不登校生徒数が多い現状にある。 ・令和6年度末の調査から不登校児童の理由で最も多かった事由は『無気力』次いで『親子関係に起因するもの』であった。 ・学校や学級に更に魅力を持たせることが重要であると考えられる。 ・不登校生徒の増加に伴い、評価を「大幅に遅れている」と評価した。								
	予算額		36,121千円									
	決算額		32,045千円									
	執行率		89％									

施策2 不登校対策を中心とした教育相談の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
26	学校教育課		1・目標を達成	指標(単位)	「参加してよかったと感じた研修会」をあげた 教職員数の割合 (%)							・教育相談、特別支援教育、人権教育等の研修を充実させ、豊かな心をはぐくむ教育に資する。 ・養護教諭研修の講師にスクールカウンセラーを依頼し、教育相談の充実を図る。 ・各研修会においてより専門的な知識・技術等を身に付けられるよう、講師の選定を工夫・改善する。
	総振CD	2212-02		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0202-01		目標		100	100	100	100	100		
	教育センター運営事業			実績	－	100	91	100	100			
				・研修会について、すべての参加者が「参加してよかった」、「ややよかった」と回答したため、「目標を達成」と評価した。								
	予算額	1,885千円										
	決算額	1,416千円										
	執行率	75%										

施策3 学校等における人権教育の推進

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
27	生涯学習課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	集会所年間利用者数 (人)							・成人学級の開催等、集会所を積極的に活用していく。 ・来館者が安心して利用できるよう施設の修繕を行うなど管理運営をしていく。
	総振CD	2513-03		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0203-01		目標		12,100	12,100	12,100	12,100	12,100		
	集会所管理運営事業			実績	2,371	2,758	3,833	4,724	3,978			
				・小中学生学級の開催場所を集会所から学校にしたことから、利用者増とはならず、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・集会所を利用している市民は成人学級参加者が多い。成人学級の参加者増とはならなかったため、目標値の33%となった。								
	予算額	9,699千円										
	決算額	6,618千円										
	執行率	68%										

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策1 安全・安心な給食の提供

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
28	学校給食課		1・ 目標を達成	指標(単位)	学校給食提供日数（率） （％）							・児童生徒園児に安全で安心な給食を提供する。 ・安全で安心な給食の提供のために、施設の維持管理及び衛生管理の徹底を図る。
	総振CD	2213-01		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度（決算）	7年度（目標年）		
	プランCD	0301-01		目標		100	100	100	100	100		
	給食センター管理運営事業			実績	100	100	100	100	100			
	予算額			819,925千円								
	決算額			808,567千円								
	執行率			99%								
29	学校給食課		2・ 概ね達成	指標(単位)	現年度収納率の向上 （％）							・学校や子育て支援課と連携し、声かけや児童手当からの徴収等を引き続き行っていくとともに、場合によっては、電話や文書による督促等を行いながら完納を目指す。
	総振CD	2213-07		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度（決算）	7年度（目標年）		
	プランCD	0301-02		目標		100	100	100	100	100		
	給食費収納対策事業			実績	99.93	99.98	99.99	99.93	99.94			
	予算額			0千円								
	決算額			0千円								
	執行率			－								

施策2 食育の推進

施策3 健康の保持増進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
30	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位)	児童のう歯治療率(%)							・児童の口腔衛生を促進するために、養護教諭の取組や治療勧告の状況などを共有できる研修会等を開催していく。
	総振CD		2213-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0303-01	目標		96	96	96	96	96	
	小学校健康推進事業		実績	87.8	86	86.6	85.1	91.1			
	・口腔衛生の必要性・重要性を理解させる健康教育を実施し、健診等で早期発見に努めたため、「概ね達成」と評価した。										
	予算額		28,523千円								
	決算額		26,344千円								
執行率	92%										
31	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位)	生徒のう歯治療率(%)							・生徒の口腔衛生を促進するために、養護教諭の取組や治療勧告の状況などを共有できる研修会等を開催していく。
	総振CD		2213-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0303-02	目標		96	96	96	96	96	
	中学校健康推進事業		実績	95.7	93.1	91.9	93.1	94.5			
	・各学校では、生徒の健康維持・向上を目指し、歯科指導や学校保健委員会を定期的で開催してたものの、目標を下回ったため、「概ね達成」と評価した。										
	予算額		14,717千円								
	決算額		13,468千円								
執行率	92%										

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

施策1 安全で安心な教育環境の整備

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
32	教育総務課		2・ 概ね達成	指標(単位)	図書整備率100%達成校数(校)							・学校図書館の活性化を図りつつ、計画的な図書購入と適正な廃棄を行い、整備率100%を目指していく。
	総振CD	2214-01		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0401-01		目標		22	22	22	22	22		
	小学校管理運営事業			実績	22	21	20	19	19			
				・図書整備率は、三俣小学校・高柳小学校・元和小学校が引き続き100%を下回ることとなった。この3校以外の19校は、継続的な図書購入を行った結果、引き続き100%を達成し、学校図書館の整備充実を図ることができた。目標値を下回ったものの、概ね目標値に近い水準であることから、「概ね達成」と評価した。なお、図書購入費は100%執行した。								
	予算額	356,374千円										
	決算額	316,564千円										
執行率	89%											
33	教育総務課		2・ 概ね達成	指標(単位)	図書整備率100%達成校数(校)							・学校図書館の活性化を図りつつ、計画的な図書購入と適正な廃棄を行い、整備率100%を目指していく。
	総振CD	2214-02		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0401-02		目標		8	8	8	8	8		
	中学校管理運営事業			実績	7	7	7	7	7			
				・図書整備率は、加須平成中学校が引き続き100%を下回ることとなった。この1校以外の7校は、継続的な図書購入を行った結果、引き続き100%を達成し、学校図書館の整備充実を図ることができた。目標値を下回ったものの、概ね目標値に近い水準であることから、「概ね達成」と評価した。なお、図書購入費は100%執行した。								
	予算額	199,349千円										
	決算額	176,754千円										
執行率	89%											
34	こども保育課		3・ やや遅れている	指標(単位)	保護者・地域への幼稚園教育活動に対するチラシやHP等での周知数(回)							・幼児が安心安全に過ごせるよう、保護者・地域の方と連携し、適正な管理運営を行う。 ・産休代員職員(会計年度任用職員、幼稚園教諭)確保のため、広報やHPを活用する。 ・幼稚園教育活動の周知については、各園によって差があるため、就園率アップに繋がるよう努める。
	総振CD	2141-01		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0401-03		目標		160	170	180	190	200		
	公立幼稚園管理運営事業			実績		206	180	226	144			
				・各園の教育方針や幼稚園教育への理解を深めていただく手段として、チラシやHPを通して、保護者や地域に周知したが、R6から幼稚園が13園から8園に減り、目標値の76%にとどまったため、「やや遅れている」と評価した。								
	予算額	146,469千円										
	決算額	130,897千円										
執行率	89%											
35	学校教育課		1・ 目標を達成	・事業を円滑に進めるにあたり、必要経費を適切に支出した。							・特定教科専門指導非常勤講師と欠員対応非常勤講師の配置に必要な予算などの、適正な管理執行に努める。 ・部活動あり方検討委員会を開催する。	
	総振CD	2214-03										
	プランCD	0401-06										
	学校教育管理事業											
	予算額	44,361千円										
	決算額	35,527千円										
	執行率	80%										

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
36	教育総務課	2・ 概ね達成	指標(単位)	小学校施設の大規模改造工事実施率 〔大規模改造工事実施済棟数/大規模改造工事が 必要な棟数×100〕 ※築後30年以上の棟数及び改修が必要な棟数の 合計 (%)							・長寿命化計画に基づき、校舎等 のトイレ改修、内装木質化やバリア フリー化などを含めた全面的な 工事を実施する。	
	総振 CD		2214-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0401-07	目標		51.2	50.0	54.3	57.4	57.4		
	小学校施設整備事業		実績	51.2	51.2	50.0	50.0	48.9				
	予算額		917,907千円									
	決算額		857,309千円									
	執行率		93%									
37	教育総務課	1・ 目標を達成	指標(単位)	中学校施設の大規模改造工事実施率 〔大規模改造工事実施済棟数/大規模改造工事が 必要な棟数×100〕 ※築後30年以上の棟数及び改修が必要な棟数の 合計 (%)							・長寿命化計画に基づき、校舎等 のトイレ改修、内装木質化やバリア フリー化などを含めた全面的な 工事を実施する。	
	総振 CD		2214-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0401-08	目標		58.8	52.6	52.6	47.6	54.5		
	中学校施設整備事業		実績	58.8	58.8	52.6	52.6	47.6				
	予算額		55,866千円									
	決算額		34,846千円									
	執行率		62%									
38	こども保育課	3・ やや遅れている	指標(単位)	市立幼稚園の非構造部材の耐震化対策実施率 (累計) (%)							・加須市立幼稚園再編計画に基づ き、加須市学校施設長寿命化計画 の施設整備の優先順位を見直し、 計画的に整備を進める。	
	総振 CD		2142-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0401-09	目標		0	23.1	46.2	69.2	100.0		
	公立幼稚園施設整備事業		実績		0	0	0	37.5				
	予算額		7,642千円									
	決算額		7,565千円									
	執行率		99%									

施策2 学校ICT環境の適正な管理

施策3 市立学校の適正な配置

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
39	教育総務課	1・ 目標を 達成	指標(単位)	「加須市の教育」発行部数 (部)							・「加須の教育」については、内容を更新するとともに、よりわかりやすいものとなるよう見直しを行っていく。 ・引き続き教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。 ・教育功労者表彰について、推薦基準に基づき適正に実施する。 ・学校再編の検討の基礎となる基本方針、基本方針の次の段階となる基本計画等の策定に当たっては、保護者や地域住民との合意形成を基本に必要なプロセスを踏んで丁寧かつスピード感をもって進めていく。
	総振CD		2211-29	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0403-05	目標		160	160	160	160	160	
	教育委員会事務局管理事業		実績	160	160	160	160	160			
	・「加須市の教育」について、目標部数の160部を発行し、関係機関等に配布するとともに、HPで公表したため、「目標を達成」と評価した。 ・加須市役所を会場に教育功労者表彰式を実施し、推薦基準に基づく18人を表彰した。 ・令和6年8月に「加須市立小中学校の適正規模・適正配置に係る基本方針」策定のための基本的な考え方を教育委員会において決定した。 ・基本方針策定のための基本的な考え方などを広報かぞや市ホームページに掲載し広く市民へ周知した。 ・基本方針策定のための基本的な考え方を基に、総合教育会議や教育委員会との意見交換の場において議論を重ね、基本方針の策定に取り組んだ。										
	予算額		1,557千円								
	決算額		1,039千円								
執行率	67%										

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
40	学校教育課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	幼稚園応援団に登録する市民の数 (人)							・実態に合わせ、①保育支援②安心安全の確保③幼稚園の環境整備④幼稚園と家庭・地域との交流活動等を展開していく。
	総振CD		2215-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0501-01	目標		220	220	220	220	220	
	学校いきいきステーション事業		実績	250	226	200	156	79			
			・幼稚園応援団ボランティアの人数は、高齢化に伴い減少傾向にあるものの、目標値の78%となったため「やや遅れている」と評価した。 ・園において、創意工夫を生かした幼稚園応援団の活動を実施した。 ・幼稚園応援団の高齢化により、登録者が減少している。園ごとに必要な応援団を精査するとともに、新たな応援団の発掘が喫緊の課題である。								
	3・ やや遅 れている	指標(単位)	学校応援団に登録する市民の数 (人)							・実態に合わせ、①学習支援②登下校における安心安全の確保③学校の環境整備④学校と家庭・地域との交流活動等を展開していく。 ・令和7年より、市立全小・中学校に学校運営協議会を導入した。今後は、学校の取組を支援するとともに、地域とともにある学校づくりを推進していく。	
		総振CD	2215-02	年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度(決算)		7年度(目標年)
		プランCD	0501-02	目標		4,300	4,300	4,300	4,300		4,300
		地域密着型教育広報事業		実績	4,167	3,888	3,210	2,761	2,624		
				・学校応援団ボランティアの人数は、高齢化に伴い減少傾向にあり、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・学校において、創意工夫を生かした学校応援団の活動を実施した。 ・学校応援団の高齢化により、登録者が減少している。学校ごとに必要な応援団を精査するとともに、新たな応援団の発掘が喫緊の課題である。							
				予算額	4,066千円						
	決算額	4,036千円									
	執行率	99%									
41	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位)	掲示コーナーに掲示したパネル数 (枚)							今後も、定期的に幼稚園、小・中学校の教育活動の様子を紹介し、地域の方々に幼児、児童生徒への教育への関心を育みながら地域密着型教育を推進していく。
	総振CD		2215-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0501-02	目標		624	624	624	624	624	
	地域密着型教育広報事業		実績	577	548	535	533	538			
			・各学校(園)の特色ある教育活動を計画的に市民にパネル公開したため、「概ね達成」と評価した。 ・市役所本庁舎及び騎西、北川辺、大利根のパネル展示を計画のとおり掲示し、特色ある教育活動を広報した。樋遣川幼稚園は令和4年度から、志多見幼稚園は令和5年度から、不動岡幼稚園、騎西南幼稚園、大越幼稚園は令和6年度から休園している。								
			予算額	0千円							
	決算額		0千円								
	執行率		—								

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
42	学校教育課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	地域の方にあいさつをしている児童生徒の割合 ※「家庭・地域の絆推進運動」アンケート結果より (%)							・あいさつ運動の実施を市ホームページ(トップページ)にて紹介し、地域への認知度を高める。 ・加須市あいさつ運動推進委員会を活性化し、駅前キャンペーン(5、10月)、市民平和祭(5月)、市民祭り(10月)のあいさつ運動では、他課とも連携を図り、市を挙げたあいさつ運動を行う。	
	総振CD	2215-06		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)			
	プランCD	0501-03		目標		95	95	95	95	95			
	あいさつふれあい推進事業			実績	77	76	-	-	-				
	・これまでの事業の検証と今後の在り方を見直し、新たな事業展開の手法等を検討するために、本指標の根拠となる「絆アンケート」を令和4年から実施していないため、「大幅に遅れている」と評価した。												
			1・目標を達成	指標(単位)	「加須市あいさつ運動」のPRグッズを常設している学校の割合 (施設)							・今後もPRグッズを活用したあいさつ運動を推進し、自分からあいさつできる児童生徒の育成を図っていく。	
	総振CD	2215-06		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)			
	プランCD	0501-03		目標		100	100	100	100	100			
	あいさつふれあい推進事業			実績	100	100	100	100	100				
	・加須市あいさつ運動推進委員会を活性化し、駅前キャンペーン(5、10月)、市民平和祭(5月)、市民祭り(10月)のあいさつ運動では、他課とも連携を図り、市を挙げたあいさつ運動を行うことができたため「目標達成」と評価した。												
予算額		234千円											
決算額		169千円											
執行率		72%											
43	学校教育課		1・目標を達成	指標(単位)	保育所、幼稚園、小・中学校の交流の延べ回数 (回)							・リンクミーティング(中学校区の合同会議)を通して保・幼・小中一貫教育の充実を図る。 ・保育所・幼稚園から小・中学校への「縦」の連携に加え、同一小学校区内の保育園と幼稚園、同一中学校区内の小学校といった「横」の連携についても併せて取り組む。 ・年度末に保・幼・小中連携協議会を開催し、リンクミーティングの成果及び交流活動の実績を振り返り、次年度に向けて連携を強化させていく。	
	総振CD	2215-03		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)			
	プランCD	0501-04		目標		650	650	650	650	650			
	保・幼・小中一貫教育事業			実績	275	514	425	664	731				
	・リンクミーティング、各種の交流活動が積極的に行われ、保育所、幼稚園、小・中学校の交流回数(幼児・児童生徒、教職員)が、目標値を上回ったため「目標達成」とした。												
	予算額			1,442千円									
	決算額			1,008千円									
執行率		70%											
44	生涯学習課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数 (人)							・就学児前の保護者の子育てに対する悩みや不安の解消につなげるために、各小学校やコミュニティセンター講座等にて、埼玉県家庭教育アドバイザー等を講師に迎え「就学前子育て講座、親の学習、家庭教育学級」を適時適切に実施していく。 ・すくすく子育て相談室と連携し、子育てサロン等で講座を周知していく。	
	総振CD	2215-05		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)			
	プランCD	0501-06		目標		2,265	2,315	2,365	2,415	2,465			
	家庭の学びと地域の絆推進事業			実績	431	453	502	1,041	965				
	・各コミュニティセンターや小学校等で「子育て講座」「家庭教育学級」を実施した。 ・講座の回数は増えたが、参加人数は昨年と比べ減少し、目標値を下回ったことから「大幅に遅れている」と評価した。												
	予算額			112千円									
	決算額			67千円									
執行率		60%											
45	学校教育課		1・目標を達成	指標(単位)	通学路安全対策事業要望に対する対応割合 (%)							・今後も、関係各課と連携を深め、優先度の高い箇所から迅速かつ適切に対応していく。	
	総振CD	2215-08		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)			
	プランCD	0501-09		目標		100	100	100	100	100			
	通学路安全対策事業			実績	100	100	100	100	100				
	・すべての市立小・中学校が通学路安全点検を実施した。 ・通学路安全点検や保護者の意見等を踏まえた通学路安全対策事業要望を把握し、関係各課と連携した安全対策を実施したため「目標達成」とした。												
	予算額			39,200千円									
	決算額			37,385千円									
執行率		95%											

施策2 子どもの健やかな成長の支援

施策3 青少年の健全育成の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
46	生涯学習課		2・ 概ね達成	指標(単位)	成人式出席率(新成人の内、実際に成人式に出席した人数の割合) (%)							・実行委員が予定を立てやすいように、実行委員会の通知を早く出す。 ・受付の混雑を緩和するため、地域ごとの受付を廃止する。 ・市の一体感を意識し、「二十歳の抱負」の担当者については、4地域の代表1名ずつから、市全体の代表男女1名ずつに変更する。
	総振CD	2215-17		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0503-01		目標			85	85	85	85	85	
	二十歳の集い開催事業			実績	70	75	71	76	77			
	予算額			2,064千円								
	決算額			1,308千円								
	執行率			63%								
47	生涯学習課		3・ やや遅れている	指標(単位)	少年の主張、講演会の観客来場人数 (人)							・児童・生徒の主張のすばらしさを伝えるべく、運営方法や周知活動など関係機関と協議しながら広く市民へ呼びかける工夫に努めて、幅広い層の観覧につなげる。
	総振CD	2215-07		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0503-02		目標			600	600	600	600	600	
	青少年健全育成事業			実績	0	0	201	280	330			
	予算額			3,007千円								
	決算額			2,934千円								
	執行率			98%								

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策1 生涯学習活動の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
48	生涯学習課	1・ 目標を達成	第4次生涯学習推進計画策定のため、「加須市の生涯学習活動に関する調査」を実施した。 【調査の目的】 市民ニーズに即した計画を策定するため、生涯学習の現状や課題を明らかにする基礎資料として実施した。 【調査の実施状況】 ・市内在住の18 歳～ 80歳の市民1,000人(男女各500 人) ・対象者を各行政区（市内 20 地区）の人口割に応じて抽出 ・調査期間：令和6年 10 月 23 日から令和6年 11 月 15 日 ・回答者数：355 人（回答率35.5%） アンケート調査は、予算に委託料を見込んでいたが業者に委託せず に実施した。アンケート調査に係る郵送料も予算見込みを下回った。							・市民の意向調査を踏まえ、令和 8年度から令和12年度までの5カ 年計画期間とし、計画を策定す る。
	総振 CD		2311-01							
	プラン CD		0601-01							
	生涯学習推進計画策定 事業									
	予算額		632千円							
	決算額		57千円							
	執行率		9%							
49	生涯学習課	3・ やや遅れている	指標(単位)	事務事業達成度における全事業数に対する「概 ね順調」「達成済」の割合（%）						・アンケート調査の実施など市民 のニーズを把握し、参加者が増加 するよう内容を工夫しながら、第 3次生涯学習推進計画を推進し、 適正な管理を行う。
	年度		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)		
	目標			95	95	95	95	95		
	実績		100	100	44	59	58			
	・計画期間途中で事業が完了したため指標に表せず、評価が「大幅 に遅れている」としたものが3事業あった。 ・11施策のうち、『芸術文化活動の振興』『家庭教育の支援』 『人権教育の推進』は、計画策定当初から達成割合0%が続いてい るため、目標値の設定や事業の進め方の見直しを調査検討する。									
	総振 CD		2311-02							
	プラン CD		0601-02							
50	生涯学習管理事業	3・ やや遅れている	指標(単位)	加須市社会教育委員の総会等・研修会への参加（件）						・社会教育委員の専門的知識習得 のため、積極的な研修参加を図 る。 ・課内全体の事務経費の適切な執 行を行う。
	年度		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)		
	目標			8	8	8	8	8		
	実績		0	5	7	7	6			
	・会議、研修が一部書面開催となった催しもあったが、少しずつ、 参加する機会が増えたことから、目標値の75%となったため、 「やや遅れている」と評価した。									
	総振 CD		2311-06							
	プラン CD		0601-03							
51	生涯学習課	2・ 概ね達成	指標(単位)	コミュニティセンターでの講座の受講率（%）						・利用者ニーズに合ったセミナー が実施できるよう情報収集を行 い、更なる利用者数の増加を図 る。 ・市民講師の情報をデータベー ス化し、市民等の問い合わせに 的確かつ迅速に答えていく。
	年度		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)		
	目標			80	80	80	80	80		
	実績		0	76	72	77	79			
	・各コミュニティセンターにおいて、幅広い年齢層に向け、ニーズ や社会問題などを取り上げた講座を実施し、目標値にほぼ達してい るため「概ね達成」と評価した。									
	総振 CD		2311-03							
	プラン CD		0601-04							
	生涯学習きっかけづく り支援事業	2・ 概ね達成	指標(単位)	生涯学習市民企画委員人数（人）						・市民企画委員「アシストかそ」 や各生涯学習推進員との協働に より先駆的で話題性のあるテー マのセミナーを企画運営する。 ・利用者ニーズに合ったセミナー が実施できるよう情報収集を行 い、更なる利用者数の増加を図 る。 ・市民企画委員「アシストかそ」 の活動の紹介や魅力発信を継続 し、新規委員の募集を図る。 ・市民講師の情報をデータベー ス化し、市民等の問い合わせに 的確かつ迅速に答えていく。
			年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (決算)	7年度 (目標年)	
			目標		16	16	16	16	16	
			実績	15	13	12	11	15		
			・市民企画委員の高齢化、新規加入者の退会があったが、市民企画 委員への勧誘や募集を行い目標に近い数値となったため「概ね達 成」と評価した。 ・市民企画委員との協働により事業を実施（企画）することで、市 民との協働による生涯学習を推進した。							
予算額			5,501千円							
決算額	4,610千円									
執行率	84%									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等				
52	生涯学習課	1・目標を達成	指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 (%)							・市民企画委員「アシストかぞ」との協働によりバラエティ豊かなセミナーを実施(企画・運営)するだけでなく、市民のニーズに合ったセミナーが実施できるよう情報収集を行い、講座の更なる質の向上を図っていく。			
	総振CD		2311-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)				
	プランCD		0601-05	目標		80	80	80	80	80				
	市民学習カレッジ事業							実績	0	83		81	83	84
	・生涯学習の機会の提供を促進するため、市民ボランティア(市民企画委員「アシストかぞ」と協働しながら、生涯学習課主催又は他課との共催として56セミナーを実施し、受講率も目標を達成することができた。													
	4・大幅に遅れている	指標(単位)	市民学習カレッジサークル化率 (%)							・市民のニーズに合ったセミナー(講座)が実施できるよう情報収集を行い、講座の更なる質の向上を図り、サークル化につなげていく。 ・アンケートの意見をもとに、サークル化の課題を整理し、受講生に適切なアドバイスを行い、サークル化促進を図る。				
		総振CD	2311-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)		7年度(目標年)			
		プランCD	0601-05	目標		14	15	15	15		15			
実績							－	14	6		6	4		
・受講生の意向を反映するためにアンケートを実施し、結果をもとにサークル化を提案している。56講座開催し、2つの講座がサークル化となった。 ・サークル化のために受講生内で話し合う時間が十分に確保できず、サークル化する団体が少なかったため、「大幅に遅れている」と評価した。														
予算額	3,147千円	決算額	2,349千円	執行率	75%									
53	生涯学習課	3・やや遅れている	指標(単位)	シニアいきいき大学の受講定員 (人)							・平成国際大学と連携、協議しながら、市民のニーズや社会的課題に対応した講義内容を充実させる。			
	総振CD		2311-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)				
	プランCD		0601-06	目標		230	230	230	230	230				
	シニアいきいき大学事業							実績	91	99		106	142	117
	・60歳以上の市民を対象にした平成国際大学との連携事業であり、全日程(合計20回)を実施した。 ・駐車場や教室の事情により大学から要請があり、で自然科学部定員51人(1年生)、人文科学部定員66人(2年生)にて実施となったため、「やや遅れている」と評価した。													
	予算額	759千円	決算額	747千円	執行率	98%								
	54	生涯学習課	3・やや遅れている	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)							・市民が安全に快適に施設利用できるように、計画的に施設修繕を進める ・公共施設予約管理システムにより、インターネット上から施設の予約状況の確認ができることを周知していく		
		総振CD		2311-09	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)			
プランCD		0601-07		目標		245,000	246,000	247,000	248,000	249,000				
文化・学習センター管理運営事業							実績	60,034	103,821	159,460	178,067		182,321	
・新型コロナウイルス感染症が沈静化して、利用者数は増加傾向にあるが、目標とは乖離があるため、「やや遅れている」と評価した。														
予算額		293,340千円	決算額	257,857千円	執行率	88%								

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
55	生涯学習課		3・ やや遅 れてい る	指標(単位)	プラネタリウム観覧者数(人)							・魅力あるプラネタリウム番組を導入する。SNSやホームページを積極的に活用するなど、効果が高い情報発信を行う。
	総振CD	2311-13		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-08		目標		15,500	16,000	16,500	17,000	17,500		
	加須未来館管理運営事業			実績	1,819	4,153	10,753	14,062	12,732			
				・プラネタリウム観覧者数が、目標を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・加須未来館に常設展示している宇宙服がテレビ番組に取り上げられるなどして施設への注目度がアップして来館者数は増加したが、プラネタリウム観覧には期待したほどの効果はなかった。								
			3・ やや遅 れてい る	指標(単位)	加須未来館年間来館者数(人)							・加須未来館のクラウドファンディング、人気投票を通じて利用者と一緒にリニューアルを進めていく
	総振CD	2311-13		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-08		目標		96,000	97,000	98,000	99,000	100,000		
				実績	19,341	26,908	42,337	47,947	53,651			
				・来館者数は、目標を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・加須未来館に常設展示している宇宙服がテレビ番組に取り上げられるなど施設への注目度がアップして来館者数が増加したが、期待したほどの効果はなかった。								
予算額		59,477千円										
決算額		56,255千円										
執行率		95%										
56	生涯学習課		4・ 大幅に遅 れてい る	指標(単位)	余裕教室利用団体数(団体)							・各学校における一時利用可能教室数が減少しており、また、利用団体等からの問い合わせもなかったため事業の必要性について検証する。
	総振CD	2311-12		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-12		目標		4	4	4	4	4		
	余裕教室等活用事業			実績	3	0	0	0	0			
				・一時利用可能教室が少なくなっていること、またサークル・団体は市内のコミュニティセンターを主な拠点として活動していることから、余裕教室の利用がなかったため、「大幅に遅れている」と評価した。								
	予算額		0千円	●余裕教室4校4教室 志多見小学校、北川辺西小学校、北川辺東小学校、大利根東小学校								
	決算額		0千円									
	執行率		—									

施策2 芸術文化の振興

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
57	生涯学習課	3・やや遅れている	指標(単位)	4施設延べ利用者数(人)							・市民が安全に快適に施設利用できるように、計画的に施設修繕を進める。 ・公共施設予約管理システムにより、インターネット上から施設の予約状況の確認ができることを周知していく。 ・適切な時期にホームページや公式SNSからの情報発信をおこなっていく。	
	総振CD		2312-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD		0602-01	目標		245,000	246,000	247,000	248,000	249,000		
	文化・学習センター芸術文化振興事業		実績	60,034	103,821	159,460	178,067	182,321				
			・新型コロナウイルス感染症が沈静化して、利用者数は増加傾向にあるが、目標とは乖離があるため、「やや遅れている」と評価した。									
	予算額	5,419千円	4・大幅に遅れている	指標(単位)	文化・学習センター自主公演事業来場者(人)							・自主公演事業の今後のあり方を検討する。 ・芸術文化団体の立ち上げに関する情報発信を行う。
	決算額	1,604千円		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	執行率	30%		目標		5,000	5,200	5,400	5,600	5,800		
			実績	0	1,265	3,841	2,126	2,773		・著名なアーティスト(細坪基佳)のライブなどの開催により、前年度よりも若干、来場者数が増加したものの、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。		
58	生涯学習課	3・やや遅れている	指標(単位)	各地域文化祭の来場者数(人)							・今後は、市民が文化芸術に直接参加、鑑賞、発表できる機会を充実させ、多くの市民が参加する文化芸術活動の促進に努める。	
	総振CD		2312-01	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD		0602-02	目標		20,500	20,600	20,700	20,800	20,900		
	地域文化振興事業		実績	0	0	14,000	14,500	12,742				
			・4地域の文化祭を全て開催した。同様に、県展かぞ、市美術展、市民音楽祭等を開催し、市民の文化芸術活動の振興に寄与できたが、文化祭来場者数は目標に至らなかった。									
	予算額	5,862千円	3・やや遅れている	指標(単位)	文化祭の参加団体数(団体)							・今後は、多くの市民が参加できる魅力ある創作活動の発表、展示の場をつくり、市内の芸術文化の向上を図っていく。
	決算額	5,323千円		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	執行率	91%		目標		240	245	250	250	250		
				実績	0	0	160	159	169			
				・参加団体数は5年度よりも増えたが、目標値に至らなかったため、「やや遅れている」と評価した。								

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
59	生涯学習課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	地区文化祭来場者数 (人)							・市民の安全を確保しつつ、文化や芸術への参加、鑑賞、発表できる機会を充実させ、市民文化の高揚を図る。 ・幅広い年齢層への利用促進・参画促進・開催周知し芸術文化活動を推進する。 ・実行委員会による内容の見直し、刷新を各コミュニティセンターの生涯学習推進員が具現化する。 ・公民館からコミュニティセンターへ移行した利点を活かした運営を図る。
	総振CD		2312-02	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0602-03	目標		11,300	11,300	11,300	11,300	11,300	
	地区文化祭振興事業		実績	0	0	2,800	5,126	5,021			
			・加須地域のコミュニティセンター（旧公民館）を会場に、利用者や学校、市民団体、地元企業などが協働し、作品展示及び演奏発表、模擬店を催し、地域性のある文化祭を開催したものの、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・減少事由として、参加団体の高齢化、コロナ禍による活動の休止や停止、参加団体の固定化、飲食の制限（感染症等防止のため）、若者のコミセン離れ等が考えられる。 ●文化祭実施地区【8地区】 加須、三俣、礼羽、大桑、水深、樋遣川、志多見、大越 ※不動岡地区は第50回衆議院議員総選挙の投票所となり、代替日が困難であったため中止								
	予算額		855千円								
	決算額		745千円								
	執行率	87%									
60	生涯学習課	1・目標を達成	指標(単位)	偉人パネル展年間開催回数 (回)							・斎藤与里をはじめとする郷土の偉人の資料整理等を進め、「加須の偉人」を市内外に周知する。
	総振CD		2312-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0602-04	目標		8	8	8	8	8	
	偉人顕彰事業		実績	1	2	6	8	9			
			・偉人等身大パネルを活用し、イベント等で展示することで目標を達成した。 ・斎藤与里絵画の絵画を気軽に身近で鑑賞できるよう、クラウドファンディングで実物大写真パネルを9作品制作し、図書館及びパストラルかぞに展示した。								
	予算額		7,456千円								
	決算額		6,367千円								
	執行率	85%									

施策3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
61	生涯学習課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	北川辺郷土資料館の来館者数(人)							・北川辺郷土資料館については、北川辺の歴史をよりわかりやすく、詳しく展示していく。また、加須の水辺のくらしについてPRを行う。 ・まず興味を持ってもらえるように、ホームページから、収蔵品についての情報を発信していく。
	総振CD	2313-04		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0603-01		目標		760	765	770	775	780		
	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業			実績	139	577	396	592	238			
				・小学校の見学等受け入れたが、PRが足りず利用者が目標に達しなかったため、「大幅に遅れている」と評価した。								
			1・目標を達成	指標(単位)	騎西郷土史料展示室の来館者数(人)							・収蔵資料の展示替えをおこない、資料の活用と郷土愛の醸成を図る。
	年度	2年度		3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)				
	目標			2,660	2,645	2,690	2,705	2,720				
				実績	101	601	2,899	5,382	8,564			
				・騎西郷土史料展示室は、令和6年度から土日祝日の一般開館を行い、多くの来館者があり、目標を達成した。								
	予算額	7,530千円										
	決算額	6,899千円										
執行率	92%											

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
62	生涯学習課		1・ 目標を達成	指標(単位)	インターネット博物館のアクセス回数 (件)							・文化財マップを作製する(2ヶ年目)。 ・コンテンツの拡充に努める。 ・加須インターネット博物館の周知をする。
	総振CD	2313-02		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0603-02		目標		13,100	13,200	13,300	13,400	13,500		
	加須インターネット博物館管理運営事業			実績	14,557	15,490	19,377	21,000	21,014			
	・令和6年度中にスマートフォン・タブレット対応化が完了し、さまざまなデバイスで閲覧がしやすくなったこともあり、目標を達成した。											
	予算額	1,667千円										
	決算額	1,666千円										
	執行率	100%										
63	生涯学習課		2・ 概ね達成	指標(単位)	伝統文化保存会後継者数 (人)							・他市における同事例を参考に保存会の活性化を支援する。
	総振CD	2313-03		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0603-03		目標		316	317	318	319	320		
	伝統文化継承支援事業			実績	318	310	274	306	288			
	・高齢化と人口減少により、伝統文化保存会会員者数は減少し、目標を下回ったため、「概ね達成」と評価した。											
	予算額	1,159千円										
	決算額	1,011千円										
	執行率	87%										
64	生涯学習課		2・ 概ね達成	指標(単位)	文化財回答件数(文化財質問への回答件数) (件)							・窓口や電話等における文化財の質問に対して、必要な資料を収集し、迅速にわかりやすい回答に努めていく。
	総振CD	2313-01		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0603-04		目標		90	90	90	90	90		
	文化財の保存と活用による地域活性化事業			実績	93	86	86	87	88			
	・目標を下回ったものの、窓口や電話等における文化財の質問に対して、必要な資料を収集し、迅速にわかりやすく回答し、目標を概ね達成することができた。											
	予算額	16,900千円										
	決算額	14,095千円										
	執行率	83%										

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
66	図書館課	2・概ね達成	指標(単位)	事業の満足度 (%)							・知育絵本は、図書館の利用促進を目的に図書館で受け渡していたが、アンケートの結果を受け、令和7年度から自宅配送に変更した。 ・今後も引き続き、アンケートを実施する。
	総振CD		2314-03	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-03	目標		100	100	100	100	100	
	絵本との親子ふれあい事業		実績	—	95	—	—	95			
	予算額		1,360千円	・ブックスタート事業は、令和6年度から知育絵本に切り替えた。 ・「知育絵本」に関するアンケートを実施したところ、満足・やや満足60件/回答数63件の高評価を得ているため、「概ね達成」と評価した。							
	決算額		974千円								
	執行率		72%								
67	図書館課	1・目標を達成	指標(単位)	ブックトークの年間実施回数 (回)							・今後も学校に働きかけをして学校訪問を実施し、参加校数の増加に努める。
	総振CD		2314-04	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-04	目標		24	25	26	27	28	
	ブックトーク・おはなし会開催事業		実績	3	17	31	55	42			
	予算額		105千円	・学校の依頼により、授業中に職員が訪問してブックトークを行い、こどもたちの読書活動の推進に努めたことにより、目標値を上回ったため、「目標達成」と評価した。							
	決算額		88千円								
	執行率		84%								
68	図書館課	2・概ね達成	指標(単位)	市民1人当たりの蔵書数 (冊)							・引き続き、計画的な図書館資料の購入、収集、受入、除籍の実施をする。
	総振CD		2314-05	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-05	目標		5.25	5.26	5.27	5.28	5.30	
	図書資料整備充実事業		実績	5.28	5.29	5.28	5.26	5.26			
	予算額		20,994千円	・図書館資料の購入・収集・受入・除籍について、計画的に実施したが、蔵書数が目標値をわずかに下回ったため、「概ね達成」と評価した。							
	決算額		20,904千円								
	執行率		100%								
69	図書館課	3・やや遅れている	指標(単位)	市民一人当たりの年間貸出冊数 (冊)							・他部局との連携を図り、各種展示や「おはなし会」等のイベントに関する情報発信を行って、図書館の利用促進及び貸出数の増加に取り組む。
	総振CD		2314-06	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-06	目標		5.10	5.20	5.20	5.30	5.30	
	図書館管理運営事業		実績	3.27	4.18	4.06	3.96	3.76			
	予算額		125,716千円	・各図書館において、魅力あるテーマを基にした各種展示や「おはなし会」等のイベントに関する情報発信を行うなど、来館者数及び貸出冊数の増加に努めたが、貸出冊数が目標に達しなかったため、「やや遅れている」と評価した。							
	決算額		122,535千円								
	執行率		97%								
70	図書館課	2・概ね達成	指標(単位)	図書館まつり参加者数 (人)							・今後もボランティア団体との協働によって魅力ある図書館まつりを開催し、図書館利用者の増加と読書の推進を図る。
	総振CD		2314-07	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)	
	プランCD		0604-07	目標		3,515	3,535	3,555	3,575	3,600	
	図書館まつり開催事業		実績	0	—	2,642	3,115	2,990			
	予算額		0千円	・令和6年度は合併15周年を記念し、観光大使で絵本作家であるまつながもえ氏の講演会や著書に関するパネル展示を行うなど、各図書館において工夫を凝らし、新しいイベント等を取り入れて開催したが、参加者数が目標に達しなかったため、「概ね達成」と評価した。							
	決算額		0千円								
	執行率		—								

施策5 人権教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
71	生涯学習課		4・ 大幅に遅れている	指標(単位)	人権教育推進事業への延参加者数 (人)							・成人学級等、参加者に理解しやすい講座を計画し、今後も人権意識を高める啓発を行い、人権問題を解決していく。
	総振CD	2511-04		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	0605-04		目標		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000		
	人権教育推進事業			実績	1,886	533	2,416	3,386	2,834			
				・小中学生学級の開催回数等の見直しにより、当初の目標からは減少したことから、「大幅に遅れている」と評価した。								
			3・ やや遅れている	指標(単位)	人権問題講演会等の延受講者数 (人)							・参加者に理解しやすい講演会等を計画し、今後も人権意識を高める啓発を行い、人権問題を解決していく。
				年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
				目標		1,850	1,850	1,850	1,850	1,850		
				実績	312	1,503	875	1,713	1,401			
				・人権問題講演会等を年間9回開催し、人権意識を高める啓発を行った。延受講者数は目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・参加者に理解しやすい内容の講演会等を開催した。								
	予算額	9,699千円										
	決算額	6,618千円										
	執行率	68%										

その他の教育事業

【事業】 【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
72	教育総務課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	教育委員が訪問した教育関連施設数 (校・園)							・教育委員の意見等を踏まえつつ、訪問先や訪問方法などを工夫して実施する。 ・引き続き教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。
	総振CD	2211-28		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	－		目標		21	22	21	22	22		
	教育委員会運営事業			実績	6	10	17	13	2			
	・教育関連施設等の小学校1校、中学校1校を2日間で訪問した。その結果、教育委員の見識を深めることができ、会議での議論の活発化にもつながった。しかしながら、訪問施設数は目標値を大幅に下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。											
	・教育委員会定例会を12回開催し、教育委員会の権限に属する事務について協議や審議を行うとともに、議決簿及び会議録をHPで公表した。											
	・教育委員会交際費をHPで公表した。											
73	教育総務課		3・やや遅れている	指標(単位)	目標達成率 〔「概ね達成」「目標を達成」の事業数÷全事業数×100〕 (%)							・第2次加須市人づくりプラン（計画期間：令和3年度から令和7年度）の進行管理を毎年度行っていく。 ・遅れているものについて取り組み内容の分析を踏まえた改善を促す。
	総振CD	2211-02		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度(決算)	7年度(目標年)		
	プランCD	－		目標		80	85	90	95	100		
	加須市人づくりプラン 進行管理事業			実績	－	85.7	59.2	56.7	56.2			
	・令和6年度は、156事業178指標のうち100指標（56.2％）が「概ね達成」「目標を達成」であるため、「やや遅れている」と評価した。											
	予算額	0千円										
	決算額	0千円										
	執行率	－										

5 令和5年度評価を踏まえた取組状況

令和5年度の教育委員会点検・評価で元大桑小学校校長新井信男氏及び平成国際大学特任教授荻原孝之氏の2名の学識経験者からいただいたご意見に対する取組状況等をまとめました。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	報告書全体に対する総括的な意見等	教育総務課
報告書8ページ、「4. 各事業の点検評価」「(1) 基本目標の達成度表評価」【達成度評価の状況】を見ると、各基本目標の達成度評価は、全ての基本目標に対する評価が昨年度と変わっていません。報告書9ページには、【基本目標の達成度評価基準】及び【事業（取組）の達成度評価基準】が示されていますが、各基本目標の指標数が、最多30指標、最少3指標とかなりの差がある中、この達成度評価基準でいいのか少々疑問が残ります。 また、各事業の意見や感想の部分でも述べさせていただきますが、事業内容に対して指標が適切なかどうかという疑問が残る事業もございます。点検・評価をし、必要に応じて再考頂きたいと思います。【荻原】			
令和6年度 の取組状況	本報告書は、「第2次加須市人づくりプラン」に位置付けられている教育委員会に関連する全ての事業を対象に、点検評価を行っております。 「第2次加須市人づくりプラン」は、令和3年度から令和7年度を計画期間としていることから、令和7年度に計画の見直しを予定しています。 各基本目標の指標数や各事業の指標は、計画見直しの中で検討してまいります。 また、各事業の指標は、上位計画との整合を図りながら検討してまいります。		

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策1 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども保育課
加須市の幼児教育は、埼玉県内はもとより全国に誇れるものです。日頃の幼稚園における保育は、伝統に裏付けされた教育方針に基づき、各先生方が大変よく工夫されていて、保護者・地域からの信頼も大きいといえます。 本事業の預かり保育についても、コロナ時代以降、保護者のニーズが高まっているなかで、各園が工夫して、質の高い預かり保育を実施できています。11園で希望者全員（延べ7345人）の預かり保育が実施できたことは高く評価できます。 さらに、多様化する保護者のニーズにいかに対応するか、安心・安全な保育をいかに実現するか、保育者の確保と併せて、ご努力いただきたいと思います。【新井】			

令和6年度の取組状況	加須市立幼稚園は、幼児期の特性を踏まえ環境を通した教育を重視し、幼児期にふさわしい生活が送れるように努めております。 預かり保育事業につきましては、令和6年度は8園全園で預かり保育を実施しました。また、令和6年6月に実施した「保育時間及び保育に係る WEB アンケート」の意見を踏まえ、3歳児預かり保育を全園で実施するため、令和7年3月に試行的に実施しました。 さらに、市立幼稚園保育の充実として、3歳児の保育時間を30分延長し午後2時までとしました。
------------	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども保育課
子育て支援として預かり保育を実施し、昨年度に引き続き、希望者全員の預かり保育を実施したことは、本当に素晴らしいことです。 益々多様化するであろう保護者のニーズに対応するためにも、今後、保育士を安定的に確保するなど、預かり保育職員が安心して働ける環境づくりにも配慮していただきたいと思います。【荻原】			
令和6年度の取組状況	令和6年度は職員の確保に努め、保育士・幼稚園教諭の資格をもつ幼稚園補助員が、保育時間後の預かり保育も行えるよう弾力的に配置しました。保育の充実を図るため、預かり保育補助員が幼稚園教諭との綿密な連携を図り預かり保育を実施しています。		

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-01	2211-05	少人数学級推進事業	学校教育課
本事業の指標は、教育活動補助員の配置状況となっています。 こどもたちへのきめ細かな支援のためにも、「学校における働き方改革」を推進するためにも、現場で働く教員一人一人の業務量の削減が大変重要です。そのための教育活動補助員の人的配慮は最も効果的な方策であると考えます。 教育活動補助員は、教員免許状を有し、経験豊富な教員であることが多いため学校にとっては、大きな戦力であり、それは、こどもたちに大きな有益となります。予算確保と共に、優秀な人材を適材適所に配置できる重要な事業であり、拡大を強く望むところです。 13人配置が必要なところ、12人の配置という状況ですが、ぜひ、100%の配置をお願いしたい。また、配置だけでなく、指導主事が訪問して適切な運用がなされているかを確認・指導していることは続けてほしいと願います。 さらには、小学校1クラス児童31人以上、中学校1クラス39人以上という基準の見直しを進め、少しでも児童・生徒を多くの教員で支援できるように改善・実施してほしいと願います。そのことが児童生徒の学力向上や心の教育の推進に直結すると強く感じています。【新井】			

令和6年度の取組状況	令和6年度も指導主事が訪問し、適切な運用がなされているか確認するとともに、教育活動補助員に対して、指導助言を行いました。 令和6年度は、小学校への配置基準を1クラス36人以上から31人以上に見直しました。
------------	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-02	2211-11	学力アップ事業	学校教育課

指標が県学調の県平均正答率と市平均正答率の比較となっていることで本当に学力アップと言えるかどうかを考えていただきたいと思います。

指標がすでに決められており変更ができないことは承知していますが、こどもたちの学力は、県学調をとってみてもいわゆる教科の点数の結果だけではなく、質問紙調査や非認知能力の結果についても含めて評価したいものです。例えば小学校の児童の学力は、国語と算数の点数だけで語ってよいもののでしょうか。仮にその点数にしてもこどもたちの学力の伸びとして、評価することが重要であると考えます。単なる平均正答率の比較では、こどもたちの学力の向上を評価することはできないと考えます。

学力は、児童生徒一人一人の伸びとして捉えることが大切です。その学力の伸びが、県学調の結果には明確に示されているので、県と市で比較することができます。平均正答率のみに左右されるのではなく、加須市のこどもたちの学校生活における学習への取組実践や意欲・態度は、県と比較して上回る項目が多くあることを評価したいものです。学力の3要素は、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度です。点数や平均正答率のみで学力は測れません。

指標の見直し・変更を強く望みます。

そこで、4つの疑問があります。一つ目に、県学調との平均正答率の比較では「やや遅れている」との評価ですが、児童生徒の一人一人の伸びとしてみたときは、県全体と比べてどうなっているのでしょうか。

二つ目に、県学調や全国学テの質問紙調査の結果が、どうなっているのでしょうか。

三つ目に、令和5年度に実施したC B Tによるチャレンジテストや加須市「学力分析シート」による成果はどのようになっているのでしょうか。

四つ目に、中学校における「加須学び Time」の実績はどのようになっているのでしょうか。【新井】

令和6年度の取組状況	県学調は「学習した内容がしっかりと身につけているのか」という視点に、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えることで、一人一人の成長を支え、学力を確実に伸ばすことを目指したものであります。 児童生徒の学力の伸び（市平均）を県と比較すると、小・中学校ともに県平均を上回っています。 質問紙調査を分析したところ、「休みの日の学習時間が長い」児童生徒ほど、学力が高い傾向が見られたり、「難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している」児童生徒の方が、学力の伸びが大きい傾向にあることが
------------	---

	わかっています。 C B Tによるチャレンジシート、学力分析シートにより、各校が県学調の結果を分析し、具体的な取組を重ね、チャレンジテストで実力を測り、また県学調に向けて授業改善等に取り組むといったP D C Aサイクルができていることが成果として挙げられます。 「加須まなびT i m e」については、6月から各会場で実施しております。加須市のこどもたちに学ぶ機会を確保していくため、引き続き、活動の充実を図ってまいります。
--	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-02	2211-11	学力アップ事業	学校教育課
「加須市チャレンジテスト」をC B Tで実施し、加須市独自の分析シートを活用して結果を分析し、各校の課題が明確になったようです。今後、各校の課題解決に向けた取組がさらに充実することを期待します。また、正答率については学校間格差もあるのではないかと思います。学力を伸ばしている学校の特徴的な取組等を分析し、市内で共有し活用していただきたいと思います。【荻原】			
令和6年度 の取組状況	C B Tによる加須市チャレンジテスト、分析シートにより、各校が県学調の結果をより分析しやすくしました。 チャレンジテストで実力を測り、また県学調に向けて授業改善等に取り組むといったP D C Aサイクルを確立しました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-03	2211-12	小学校英語教育推進事業	学校教育課
0102-04	2211-13	中学校英語教育推進事業	

中学校の英語の学力検査の点数だけで言えば、加須市は課題があると言えます。しかし、本事業の指標は学力アップ事業と違って、点数でないところが重要かと考えます。

指標が、小学校は外国語の目標を概ね達成した児童の割合及び楽しいと感じている児童の割合、中学校は英検３級程度の英語力を有する中学校３年生の割合となっていますが、指標の設定は適切であると捉えます。

また、実績として、小学校の外国語活動指導助手とのＴＴ実施が目標通り時間数として確保されている点を評価したいと思います。

さらに、教師の指導力向上を図ることで、児童の外国語活動の力を向上させていただきたいと考えます。

また、中学校において、英語教育研究員がすべての中学校に学期２回訪問することやイングリッシュサマーキャンプというところが素晴らしいと思います。このことは、全国でも数少ない例として、加須市の特色ある取組、誇れる取組の１つだと高く評価できます。

本市の英語教育研究員は、英語がネイティブであることはもちろん、日本文化や日本の教育についても精通しているというよさを今後も生かしていただきたいと思います。そして、英語への関心が高まる中、本事業の意義と実績を保護者や市民に広く知らせていた

だきたいと願います。【新井】	
令和6年度 の取組状況	英語教育研究員及び指導主事が、定期的に学校訪問することで教員の指導力向上に向けた助言をしております。 小6及び中1のイングリッシュサマーキャンプの参加日を2日間設定し、より多くの児童生徒が参加できるようにしました。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-04	2211-13	中学校英語教育推進事業	学校教育課

この事業の指標が、「英語検定3級程度の英語力を有する中3生徒の割合」となっています。まず「英語検定3級程度の英語力」とは、どのような基準で判定しているのでしょうか。また、この事業で実施していることに対しての指標として適切なのでしょうか。

どの教科も同様と思いますが、まずその教科の授業が楽しいと思えるかどうかで生徒の興味・関心は全く変わりますし、学力にも影響すると思います。過去の経験から英語教員と外国語指導助手が良好な関係で、理解しやすく、楽しい授業を行っている時は、学力も高かった記憶があります。

「小学校英語教育推進事業」の二つ目の指標が「外国語活動が楽しいと感じている児童の割合」となっていますが、この事業の指標を「英語の授業が楽しいと感じている生徒の割合」としてはどうでしょうか。【荻原】

令和6年度 の取組状況	英語検定3級は、「中学校3年生程度の英語力」と規定されており、義務教育の中で身につけるべき力がついているかどうかを測る上での指標としています。実際の3級取得者と、各中学校の教員は授業中の観察や成果物、評価テスト、パフォーマンステストの結果等から同程度の英語力を身につけていると考えられる生徒数を報告しています。 教員とALT（外国語指導助手）が一体となって、本市の子ども達が楽しいと思える授業を着実に進めることが、生徒の英語力向上に繋がると捉えております。指導力向上に重点を置いた研修会は継続してまいります。 「小学校英語教育推進事業」は、英語教育の導入期である3・4年生児童の外国語活動に、楽しみながら授業を受けられているかについての指標としています。
----------------	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育課

まず、この事業の実績について、令和4年度69「やや遅れている」であったものが、令和5年度91「概ね達成」となったことが高く評価できると思います。コロナにより実施できなかった本事業が、昨年度から再開され、令和5年度は「未来館学習に興味・関心をもつ」ことができるようになり、喜ばしいことです。

こどもたちの理科離れが叫ばれる昨今において、加須未来館という素晴らしい施設を

ぜひ有効に活用していただきたいと感じます。加須未来館学習＝サイエンススクールは、全国に誇る本市教育の特色です。ぜひ、PRに努めていただきたいと思います。【新井】

令和6年度の取組状況	令和6年度も加須未来館の施設を活用したサイエンススクールを実施することができました。 10月上旬から中旬頃に小学校22校を対象に5日間実施し、話題になった宇宙服の紹介もしていただきました。今後も、加須未来館を最大限活用した取組を継続してまいります。
------------	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育課
加須未来館におけるサイエンススクールは本市独自の理科教育として高く評価しています。今年度、全ての小学校の4年生に対して実施されたこと、指標に対する実績が91%と高評価であったこと、素晴らしいと思います。プラネタリウムの鑑賞や未来館職員による天体の学習に昨年度とは違った工夫がなされたのでしょうか。分析し、今後にいかしていただきたいと思います。【荻原】			
令和6年度の取組状況	令和6年度は、10月中旬にすべての小学校4年生を対象として実施し、プラネタリウムの鑑賞や望遠鏡を使った太陽の黒点観察を行いました。 加須未来館の自慢と言える宇宙服の紹介もあり、こども達は様々な角度から興味・関心をもち、取り組むことができました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業	教育総務課
事業の概要は、全国大会に出場する選手の派遣費補助を行うことです。指標が交付件数となっているため、評価は「やや遅れている」となっていますが、交付件数ではなく、そのときの選手の派遣に対する補助の割合とすべきではないでしょうか。当該生徒の交通費、宿泊費、参加費、その他等、全国大会出場に係る費用の援助の割合を指標とすべきではないでしょうか。もちろん、100%が目標値になります。 令和5年度は、関東大会・全国大会に出場した8件、15人全員に派遣費を補助し、自己負担がないようにできたところは、高く評価できます。事業として目的は達成できています。【新井】			
令和6年度の取組状況	令和6年度も引き続き関東大会、全国大会に出場した生徒に対し、大会出場に係る必要な経費について、自己負担が生じないように補助しました。 指標の見直しについては、上位計画との整合を図りながら、見直しのタイミングで検討してまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業	教育総務課
交付件数が目標値を下回ったため「やや遅れている」と評価したとありますが、関東大会、全国大会の出場件数を目標に設定していることがおかしいと思います。関東大会、全国大会はそれぞれ厳しい予選があるためなかなか出場できないのが現状です。出場した15人に対し、自己負担が生じないよう派遣費が規定通り補助できたのであれば、「目標を達成」の評価で良いのではないかと思います。【荻原】			
令和6年度の取組状況	令和6年度も引き続き関東大会、全国大会に出場した生徒に対し、大会出場に係る必要な経費について、自己負担が生じないように補助しました。 指標の見直しについては、上位計画との整合を図りながら、見直しのタイミングで検討してまいります。		

施策3 教職員の資質能力の向上

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	学校教育課
本事業の趣旨は、学力向上に直結する教師の指導力向上であり、学校訪問による指導は大変重要です。その訪問指導の際に、調査の分析結果に触れながら授業改善に向けた指導をしていることは大変重要だと思います。 幼稚園・学校訪問は、指導主事等の重要な職務と捉えています。今後も訪問指導を工夫していただきたいと思います。 そうしたなかで、指標1については、これまで述べたとおりです。平均正答率の比較で学力は図れません。 指標2については、目標値に対して大きく上回った実績は素晴らしいと感じます。学校訪問の重要性を学校教育課も学校現場もよく認識されているということが反映されていると思われます。今後も、教員が実際に授業を行い、それを指導主事が参観して指導するという訪問スタイルを続けていただきたいし、さらなる工夫（時間と労力によらない学校訪問）を考えていただければと思います。【新井】			
令和6年度の取組状況	本事業として、初任者や2年目教員等の若手育成に係る指導主事の訪問や、授業力向上のためのスマイルアップ要請訪問、市教委から指導員の委嘱を受けた、市内小中学校の教員が指導をする指導委員による要請訪問を実施しました。多くの学校が授業実践と指導を受けることにより、教員が自らの授業を見直すきっかけとなっています。 「スマイルアップ訪問」では、学習指導案の提出を求めないなど、必要最小限で訪問指導が受けられるよう工夫しながら、教員の負担軽減に努めています。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	学校教育課
この事業の一つ目の指標が、「埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童生徒）」であること。また、評価に対する分析が「各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対してきめ細やかな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの市平均正答率が県平均正答率を下回った。」であること。この事業で実施していることに対しての指標及び評価に対する分析として適切なのでしょうか。 指標及び評価に対する分析が、「学力アップ事業」と同じであることも気になります。 この事業の指標を「学校訪問指導が授業改善に役だった（つながった？参考になった？）と回答した教員の割合」としてはいかがでしょうか。【荻原】			
令和6年度 の取組状況	学校のニーズに応じたスマイルアップ訪問や指導員訪問をとおして、具体的、実践的な指導を行うことにより、教員の授業改善に繋げ、その結果として児童生徒の学力向上に繋がっているかという視点から、市内30校の状況を客観的に評価できる指標を設定しています。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-02	2211-07	学習指導改善研究事業	学校教育課
学力の捉え方と指標の関係について、検討が必要ではないかと考えます。加須市として、学力をどう捉えるのか、学力や学力の伸びを何で測るのか、根底を確認していただきたいと思います。 幼稚園、小中学校における学習指導は、学力向上のみならず、学力を含めた知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成が目的となります。そのために、本事業の趣旨である指導改善・研究は、大切なことであると考えます。 指標の数は2つに限定されているのですが、体力を取り入れたのは意義深いと考えます。 一方で、実績として体力の値が年々低下している原因、対策は検討されているのでしょうか。やや気になるところです。 さらに「徳」をどう評価するのか、検討してほしいと考えます。 研究委嘱のテーマには、学習指導のみならず、生徒指導や心の教育、体力向上や食育などもあるので、この事業の本質がそこにあるように感じます。【新井】			
令和6年度 の取組状況	公開保育や研究委嘱、各校における校内研修において、こどもたちの確かな学力の向上に向け、学習指導の改善を図りました。そのため、学力の客観的な指標となる学力・学習状況調査の結果を設定しました。 体力向上推進委員会を設置し、こどもたちの健やかな体の育成に向け、心身ともに健やかなこどもの育成を目指しております。ご指摘いただいた体力低下については、体力向上推進委員会の中で、各校の実態について分析し、体力向上に向けた取組の実績について共有しました。 「徳」の評価については、「知」、「体」のように数値で測定できない		

	め、指標としてはおりませんが、児童生徒の内面の変容や行動の兆しを「特別の教科 道徳」を中心に、全ての教育活動において児童生徒の道徳性の成長を丁寧に見取りました。
--	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-02	2211-07	学習指導改善研究事業	学校教育課
この事業の一つ目の指標が、「埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童生徒）」であること。また、評価に対する分析が「各校へのチャレンジシートの配布や加須市チャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の児童生徒に対してきめ細やかな学習指導を展開し、学力の向上に努めたものの市平均正答率が県平均正答率を下回った。」であること。この事業で実施していることに対しての指標及び評価に対する分析として適切なのでしょうか。 指標及び評価に対する分析が、「学力アップ事業」及び「学校訪問指導事業」と同じであることも気になります。 この事業で実際に行われていることに対する指標及び評価に対する分析にする必要があると思います。【荻原】			
令和6年度 の取組状況	教育課程検討委員会や研究委嘱、校内研修等の指導改善に向けた取組により、教員一人一人の授業改善に繋げ、その結果として児童生徒の学力向上に繋がっているかという視点から、市内30校の状況を客観的に評価することのできる指標を設定しました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-03	2211-15	教師用教科書・指導書措置事業	学校教育課
教師用教科書・指導書は、特に若い年代の教員にとって必要不可欠な物であると考えます。今年度も、学級の増設や教員の増員で必要となった教師用教科書・指導書が直ちに100%配布されたことは、当たり前のことのようにですが、素晴らしいことだと考えます。【荻原】			
令和6年度 の取組状況	令和5年度の教科書改訂を受け、小学校の教師用教科書及び指導書を市内全小学校に必要な数措置しました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-04	2211-16	社会科副読本資料作成事業	学校教育課
社会科副読本「かぞ」は、郷土「加須市」を愛する児童の育成を目指す重要な教科書と言ってよいと思われます。作成委員は、経験と力量のある優れた教員が本来業務のほかに時間を費やして、研究し、作成しているということを知らせたいと感じます。3年に1度の改定ということも、「生きた教材」として、変化の激しい時代をよく反映できているものです。 そのような中、よい副読本や資料を作成しても、活用されなくては意味がないと思いま			

す。具体的に、活用されてこそ成果が上がります。評価テストは点数を比較するのではなく、学力向上の策となっているとして、継続していただきたいと思います。

そして、7年度の改定に向けた準備をしっかりとお願いしたいと思います。【新井】

令和6年度の取組状況	令和6年度は全小学校にアンケート調査を実施し、社会科を担当している教員から、改定についての意見を集めました。詳細な指摘や、使用者ならではの提案をいただき、改めてこの副読本がしっかりと活用されていることがわかりました。この調査は令和7年度の改訂に反映させてまいります。 評価テストの点数は、社会科としての評価を示すものであり、児童の加須市への理解を高めるだけでなく、社会科の学力を向上させるためのものとして、今後も継続してまいります。
------------	--

施策4 ICTを活用した教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校 ICT 教育活用事業	学校教育課
本事業は、学力向上策のなかで最重要課題の1つであると捉えています。GIGAスクール構想から始まり、DXと本事業への期待は社会的にも高まっています。 また、今後も学校教育においても重要な役割を担う事業となります。その事業において、目標を概ね達成できていることは、所管課の御尽力に感謝したいと思います。 そのなかで、ミニオンライン研修会「かぞ学びDX」の内容と成果について具体的に伺いたいと感じます。 そして、教職員の情報活用能力を育成するために、学校教育課の指導主事や教育センターの職員による支援や研修、企業の支援員によるサポートは大変効果的でした。 さらに、新たな取組として、タブレットの持ち帰りを可能としたが、成果と課題を知りたいと思います。 今後も、予算も多く必要とする本事業の目的が十分に達成できることが重要であると考えます。【新井】			
令和6年度の取組状況	かぞ学びDXは、授業実践例や、クラウドを活用したデータ共有など、様々な方向性の動画を作成しました。また、オンデマンド配信とすることで、いつでもどこでも何度でも観られる動画を発信しました。 その成果としては、「ICTを活用して効果的な指導ができる教員」の割合が令和5年度83%から令和6年度87%へ向上しております。 令和4年度から端末の持ち帰りを開始し、長期休みや週末等、端末を使った宿題を児童生徒に出すことができました。 令和6年度は週1回以上持ち帰る児童生徒が約65%であり、(埼玉県平均は約55%)。持ち帰り時の課題としては、児童生徒の家庭での端末使用時間があまりにも長くなりすぎないように配慮する必要があります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校 I C T 教育活用事業	学校教育課
「基本目標 1：自ら学ぶ力と確かな学力を育成します」の感想でも述べさせていただきましたが、家庭用充電アダプターの貸与による学習用端末のさらなる活用の促進、オンラインミニ講座「加須学びDX」の継続など、I C T 教育の推進がさらに進んでいることに敬意を表します。 「学校における働き方改革」を推進するための効果的な方策のひとつとして、I C T を活用した校務の効率化は不可欠であると考えます。その目標が「概ね達成」できたことは素晴らしいことです。この事業の一層の充実を強く望みます。【荻原】			
令和 6 年度 の取組状況	校務での活用、効率化を各校に広げられるよう、「働き方改革フォーラム」と称した校務の効率化に効果的な取り組みを動画にまとめ、全ての学校に配信しました。		

施策 5 特別支援教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0105-01	2211-14	特別支援教育推進事業	学校教育課
小・中学校において、これまでの知的障害や情緒障害等を支援することだけでなく、通常学級に在籍するいわゆる発達障害のこどもたちをいかに支援していくかは、すべての学校において大きな課題となっています。本事業の対象となる児童生徒の範囲を明確にしておきたいと考えます。 全国的に、特別支援学校の在籍数も増加傾向にあるとともに、特別支援学級や通級指導教室を希望する児童生徒も増加しています。それだけ、特別支援教育が保護者に受け入れられているということです。 特別支援学級に在籍する児童生徒数や通級指導教室に通う児童生徒数の増加を考慮して、本事業をさらに推進してほしいと願います。 指標になっている「ことばの教室」は、本市が力を入れている特別支援教育の 1 つであり、特色とも言えます。通常学級に在籍する児童に対する特別支援教育の意味を示す上でも理解はできます。 ただ、ことばの教室修了のみを指標とすることで本事業全体の評価とすることには疑問が残ります。分析の中にもあるとおり、ことばの教室へ通うこどもたちの実態はさまざまであり、修了するまでの期間もさまざまです。このことを評価として、事業がやや遅れていると言うのはやや的外れであると感じます。 本事業のなかで、障害児介助員の配置については、通常学級や特別支援学級の実態と照らして十分に満足できる状況にあるのでしょうか。 また、就学相談などで、通級指導教室「適」と判断され、保護者や本人のニーズがある児童生徒は、100%通級が実現できているのでしょうか。【新井】			
令和 6 年度 の取組状況	ことばの教室に通うこどもたちの実態は様々であるため、ことばの教室修了のみを指標とすることが本事業全体の評価となるのかについては、検討する必要があります。		

	障がい児介助員の配置については、各校の実態に応じて必要数を配置できました。さらに就学支援委員会において、通級指導教室「適」となっているにもかかわらず、保護者や本人の意向で通っていない児童生徒もおります。令和6年度は、通級の判断が出ており、保護者や本人のニーズがある児童生徒は、年度途中からの開始も含めると、100%通級が実現しております。
--	---

施策6 学びを支える経済支援

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0106-03	2211-27	河野博士育英事業	学校教育課
実績100%達成の継続は素晴らしいと感じます。 本事業については、広く生徒、保護者への周知が重要と考えます。中学校を通して、必要とする生徒に給与できるように続けてほしいと願います。 応募枠以上の募集が集まったという点で、広報活動が充実していると感じます。【新井】			
令和6年度 の取組状況	令和6年度は15名程度の奨学生募集に対し、13名の応募がありました。 新規募集（令和7年度）について、中学校3年生を対象に文書を配布するとともに、中学校全学年にTETORUを使用し、周知を行いました。		

施策7 自立する力の育成

ラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-04	2211-17	防災教育推進事業	学校教育課
東日本大震災から10年以上が経過し、能登半島地震もあったことなどを考えると地震や津波に対する防災教育は改めて重要視しなくてはならないことです。さらに、最近のゲリラ豪雨や突風、台風の大規模化・強力化などの風水害に対する防災教育は、本市にとっても喫緊の課題であり、本事業の意義は大きいと考えます。評価についても素晴らしいと言えます。 指標になっている「加須市防災教育指導資料」の活用を今後も十分に図っていただきたいと願います。本資料は、学校及び子どもたちにとって、大変よい資料です。 さらに、本指導資料や防災ノートを活用した授業は具体的にどのくらい実践されているかも確認したいと思います。 これからは、自治体などの地域が中心となった自主防災システムの構築が重要と言われています。そのなかでも、中学生などはよい働き手となりうると期待しています。 【新井】			
令和6年度 の取組状況	「加須市防災教育指導資料」及び「防災ノート」は、各校における防災訓練に合わせて活用されています。授業の実施時間数などの詳細は調査しておりません。 ボランティアリーダー研修会の実施と、防災教育指導資料、防災ノ		

	トの活用を進めることで、加須市の自主防災システムの構築の一助としてまいります。
--	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-10	2211-22	学校グリーンカーテン事業	学校教育課
まず、興味・関心をもっている児童生徒の割合という指標に対して、実績が「－」である理由を伺いたいと思います。 分析にある「すべての幼小中で学校ファームを実施、22小中学校、11園でグリーンカーテンに取り組めた」ということは、高く評価できると思います。 本来の事業の目的は、グリーンカーテン設置なのでしょうか。それとも、環境教育推進なのでしょうか。個人的には、本事業は、環境教育推進となるべきと捉えるので、グリーンカーテンを実施するだけでなく、かなり広範囲にはなりますが、環境教育を踏まえたSDGsとして改善すべきではないかと考えます。【新井】			
令和6年度の取組状況	「すべての幼稚園、小・中学校でグリーンカーテンや学校ファームを実施した」ということから、環境教育推進がなされている状況が見え、その経緯を踏まえてアンケート未実施となっております。 グリーンカーテン事業については、環境教育推進等における教育的価値が高いことから、事業としては継続し、必要な支援を行ってまいります。また、ご指摘のとおり、SDGsの視点も取り入れた環境教育についても研究してまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育課
令和4年度評価は「やや遅れている」でありましたが、今年度「概ね達成」となったことを喜びたいと思います。 これまでのコロナ対応により、職場体験学習の実施は困難な状況から、少しずつ改善されたとみてよいのではないのでしょうか。ふれあい講演会も、ほとんどの中学校で実施されたとのことで喜ばしいことと捉えます。 中学生にとっては、キャリア教育は大変重要です。今後も予算措置を含め、事業の充実を図っていただきたいと思います。【新井】			
令和6年度の取組状況	ふれあい講演会については中学校8校中、6校で実施をしました。 未実施の学校についても、講師を招き、自分の進路について考える機会とした講演会を実施をいたしました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育課
ふれあい講演会を実施した中学校の割合が増加し、一安心です。「分析を踏まえた改善点」に記述がありますが、「加須市観光大使の紹介」、「謝礼の増額」、「市職員マンパワー			

活用事業の活用」など、講師選定の学校の負担を少しでも減らす工夫をお願いします。【荻原】

令和6年度 の取組状況	講師選定については、各校が実態を見ながら依頼をしています。講師一覧等を配布し、積極的に活用してもらえよう、宣伝活動を行っていきたいと考えております。
----------------	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業	学校教育課

昨年度の評価「大幅に遅れている」から、やや上向きになったかと思われます。これも、コロナ対応によるものであり、ある程度は理解できます。

そのうえで、今後のアフターコロナ時代に対応したマンパワー活用を検討・実施したいものです。

ゼロ予算事業ではありますが、学校にとっても、行政にとっても効果が期待できる有効な事業と捉えています。積極的に各学校にPRして、事業の活用を図ってほしいと願います。【新井】

令和6年度 の取組状況	令和6年度の市職員の派遣実績は9件と、前年度と比べ増加しております。 年度初めに各学校への周知をしておりますが、今後も積極的に周知を行い、事業実績を増やしていきたいと考えております。
----------------	--

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

施策1 いじめ対策の充実

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育課

昨年度の評価が「やや遅れている」から今年度「大幅に遅れている」となったことを、大変心配しております。

学校現場において、学力向上と並んで重要視している課題が「いじめ」や「不登校」です。

不登校児童生徒の割合が高くなっているため、評価「大幅に遅れている」は納得できませんが、事業の成果としての分析をしていかなくてはと感じます。なぜ、不登校が増えているのか、その対策と対応はどうするのかを研究することが大切であると言えます。

児童生徒の割合は、出現率として重要であります。新規の不登校なのか、継続された不登校なのかによっても対応は全く異なります。細かく見ていく必要があると思われます。

さらに、不登校が解消した割合は上がっているのでしょうか。

理由として「無気力」が多いことの原因をどのように捉えているのでしょうか。

そのうえで、指標は、不登校の出現率でよいのでしょうか。

そして、不登校児童生徒の割合を「0」とする目標は、現実的ではないと捉えますが、いかがでしょうか。

不登校の割合が、年度を重ねるごとに高くなっていますが、教育委員会としての対策、各学校としての対策がどのように行われているのか、成果と課題を詳しく知りたいと感じています。

また、令和5年度の「小学校1.08」と「中学校7.48」は県や国と比較するとどうなのでしょうか。

加須市立学校も加須市教育委員会も、不登校問題に全力を尽くしていることを保護者や市民に知らせたいと思いますが、そのことを訴える効果的な数値的材料はあるのでしょうか。

市教育センター（あるいは県総合教育センターなどの専門機関）との連携において、学校復帰を果たした児童生徒の例や効果的な指導法を積極的に周知したり、広めたりすることのほうが重要であると考えます。

また、これまでも述べてきましたが、この事業の評価指標について、いじめについてふれていないことが理解できません。指標が1つとなっているのであれば、事業をいじめと不登校に別々にすべきです。

加須市のいじめの現状について別記されたことはとても大切なことであります。そのなかで、特に和5年度の解消件数はどうなっているのでしょうか。いじめの認知数と解決数は重要な教育課題の1つであると考えます。解消できなかったいじめについては、結果としてどうなっているのでしょうか。個人的には、認知件数は増加しても、解消件数が同じであればいじめ対策としては適切に行われていると感じております。各学校がいじめの認知件数を増加して報告することに支障が生じないように指導すべきと感じております。

いじめも不登校も、学校現場においては生徒指導上の課題ではありますが、捉え方も対応も全く別のものです。本来は、別々の2つの重要な教育課題を併せた事業になっていることが問題ではないかと考えます。【新井】

令和6年度
の取組状況

令和6年度につきましては、中学校の不登校生徒数は減少しております。

「無気力」が多くなっていることにつきましては、学習面の遅れや生活習慣の乱れ、精神的不調など理由は多様化しております。

令和5年度の「小学校1.08」と「中学校7.48」は県や国と比較すると小学校は、県や国より低い割合です。一方中学校は、国よりは低いものの、県より高い割合となっております。

令和6年度は、市内全小中学校において、不登校防止パッケージを作成し、「どこにもつながらない児童生徒を0にする」「新たな不登校児童生徒をつくらない」視点のもと、具体的な取組を実施いたしました。

令和6年度は、市内全中学校にスペシャルサポートルームを設置いたしました。オンライン学習をしたり、その生徒にあった課題を行ったりしております。

令和5年度における小学校のいじめの認知件数は80件、解消件数

	59件、解消率73.8%でした。中学校のいじめ認知件数は44件、解消件数31件、解消率70.5%でした。 令和6年度における小学校のいじめの認知件数は85件、解消件数62件、解消率72.9%でした。中学校のいじめ認知件数は49件、解消件数35件、解消率71.4%でした。 解消できなかったいじめについては、年度をまたいで各校に解消の確認を求めています。
--	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育課
「基本目標2：豊かな心を育む取組を推進します」の感想でも述べさせていただきましたが、いじめや不登校の問題は、加須市のみならず学校における全国的な課題であると認識しております。残念ながら加須市の小学校、中学校とも不登校の児童生徒の数が増加してしまいました。そのような中、教育センターを中心に、不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すための「加須学びサポート『ピア』」の運営、引きこもりがちな不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援「加須学びリンク『ピア』」の運営、不登校傾向の児童生徒の交流の場、居場所づくり「加須ステップ『ピア』」の運営など、いずれも素晴らしい取組であると高く評価します。今後も、あきらめない取組に期待するとともに、スタッフの増員、学校現場との連携・協力の工夫を希望します。 「分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等」に記載がありますが、保護者の意識の変革、教育委員会の取組の周知などを内容とした「不登校を考える保護者の会」の開催を強く希望します。 また、いじめや不登校の問題は、未然防止が大変重要です。魅力ある学校・学級づくりに各学校の更なる工夫を期待します。 昨年度も述べさせていただきましたが、事業名が「いじめ・不登校対策事業」であるのに、指標が「不登校児童・生徒の割合」だけであるのは違和感があります。「いじめの実態等」の指標が必要ではないでしょうか。【荻原】			
令和6年度の取組状況	令和6年度において、教育センターでは通所での支援を行う「加須学びサポート『ピア』」、オンラインによる学習支援「加須学びリンク『ピア』」、不登校傾向の児童生徒の交流の場である「加須ステップ『ピア』」、不登校を考える保護者の会「ハート♡ピア」を運営し、不登校の解消に向けた様々な支援をしてまいりました。 ご指摘いただきました不登校を考える保護者の会については、令和6年度は4回実施し、「一人ではないと思えた」「自分が変わろうと思えた」など、保護者の意識の変革や心の落ち着きに資することができました。 いじめの指標を設定することにつきましては、検討をしてまいります。		

施策2 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0202-01	2212-02	教育センター運営事業	学校教育課
昨年度「概ね達成」であった評価が上がったこと（すべての教職員が満足していること）について、まず、感謝したいと思います。 教育センターの事業内容は、教職員研修だけでなく、不登校問題への対応とした適応指導教室の運営、教育相談の充実（特別支援教育の相談を含む）、教育センターだよりの発行や教育資料の保管・活用といった研究などであり、このうちの教職員研修について、教職員のためにオンライン研修など工夫して取り組まれている成果であると捉えます。 特に不登校問題に対応する適応指導教室の運営や教育相談におけるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや福祉の関係機関と連携を図った実績も示せるとよいと考えます。 さらに、特別支援教育の推進として、個別の発達検査を実施している点についても感謝します。通常の医療機関で実施する場合は、費用もかかるし、かなりの待機期間が必要になります。本市の教育センターの特色の1つであると捉えています。 今後も、教育センターに期待する部分は大きいと思われませんが、充実した取組をお願いしたいと思います。【新井】			
令和6年度の取組状況	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を深めた運営に努めました。例として、巡回スクールカウンセラーを、学校の要請に応じて柔軟に派遣いたしました。令和6年度に始まった、不登校児童生徒をもつ保護者の情報交換、交流の場である「ハート♡ピア」では、スクールカウンセラーも参加し、保護者への教育相談会を実施しています。スクールソーシャルワーカーは、全小中学校を訪問し、ニーズをつかみ、継続的な支援を行っています。 教職員研修では、14の研修を行い、385人の教職員が参加しました。 発達検査はWISC-IV検査から最新のWISC-Vに切り替えを行いました。より詳細な検査結果を保護者及び学校に提供することができるようになりました。検査ができる職員を増員し、検査までの待機時間を短縮した結果、2～3か月ほどで受けられるようになりました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0202-01	2212-02	教育センター運営事業	学校教育課
教職員にとって有意義な研修会が実施されたことは素晴らしいと思います。 「分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等」に、次年度に向けて、「不登校の解消を目指し研修の内容を見直す」、「教職員の負担を軽減するために、オンラインを活用した研修の充実を図る」と記載されています。是非実現をしてください。【荻原】			

令和6年度の取組状況	不登校の解消を目指し、特別支援教育研修会を行いました。不登校の要因の一つとなる、特別な教育的支援の求めに応じられるよう特別支援教育コーディネーターの役割などを研修し、教室の中で困り感をもつ子どもへの組織的な対応について理解を深めました。 人権教育研修では、オンラインによる研修を実施しました。
------------	---

施策3 学校等における人権教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0203-01	2513-03	集会所管理運営事業	生涯学習課
小中学生学級や成人学級など、新型コロナの対応として実施できなかったことから、この評価はやむを得ないと考えます。 令和5年5月に5類に移行されたとはいえ、今後は、アフターコロナ時代を考え、集会所運営を検討し、実施していくことが重要ではないでしょうか。 人権教育推進のための1つの事業であると捉えるが、利用者数をもって本事業の目的は達成できるのでしょうか。また、小中学生学級の実施状況は、どうなっているのでしょうか。【新井】			
令和6年度の取組状況	小中学生学級は、令和6年度から、参加児童生徒の行き帰りの安全面を考慮して、開催場所を集会所から学校に変更するとともに、学習内容として、これまでの教科学習に加え、新たに体験学習を取り入れました。この新規取組は、児童生徒に大変好評でした。実施状況は、学校ごとに異なりますが、それぞれ7回～12回開催し、参加人数は延べ1,327人でした。		

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策1 安全・安心な給食の提供

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	学校給食課
毎日、児童生徒に安全安心でおいしい給食を提供していることに感謝したいと思います。3センターから2センターへと体制が変わる中、事故なく提供できている点は、大きな成果です。 さらに、給食センターが、学期ごとに児童生徒に給食に関するアンケートを実施し、学校栄養士を中心として、給食の改善に日々取り組んでいることにも、ぜひ、目を向けたいと思います。 給食費を値上げしない給食センターの御努力に感謝申し上げます。 給食センターが2センター体制となりましたが、このことによる給食提供への影響はなかったのでしょうか。【新井】			

令和6年度 の取組状況	令和4年度からアンケートを学期ごとから年1回に変更し、児童・生徒と同様に保護者にも調査を行っております。結果から得られる給食の嗜好傾向、残食の原因、家庭における給食についての考え方などをもとに、これからの給食のあり方を検討してまいります。 令和6年度については、4月から9月まで（8月を除く）の5箇月間、学校給食費の一時免除を行いました。 給食費の値上げをせずに、栄養バランスや量を確保した給食を提供できるよう賄材料費の支援も行いました。 令和5年9月から2センター体制となり、配送校の再編時には、各学校に負担をかけてしまいましたが、以前と変わらず安全安心でおいしい給食を提供することができております。
----------------	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-02	2213-06	給食費収納対策事業	学校給食課
現年度収納率99.93%は、保護者、学校、行政の協力した成果であると思います。 また、5か月間の学校給食費免除という対応は、加須市として保護者の実情を踏まえた素晴らしい決断だと感じています。 4年度分は完納ということで素晴らしいと思います。5年度分についても引き続き100%に向けて努力していただきたいと思います。【新井】			
令和6年度 の取組状況	令和6年5月31日時点での令和5年度未納分については、42件、176,090円でしたが、令和7年3月31日現在の令和5年度未納分については、7件、30,800円となっております。学校と連携し、完納にむけての調整を行い、令和6年度出納閉鎖までには、未納額は0円となり、収納率100%になる見込みです。		

施策3 健康の保持増進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0303-01	2213-02	小学校健康推進事業	学校教育課
0303-02	2213-03	中学校健康推進事業	
指標である児童生徒のう歯治療率ですが、目標値に対して実績が小学校で低下しているところが気になります。学校と連携して、家庭への働きかけをお願いしたいと思います。 こども医療、歯科医療の実際を保護者へ周知し、意識を高めることで、こどもたちの口腔衛生を促進すべきと考えます。【新井】			
令和6年度の取組状況	令和6年度の小学校のう歯処置率は、91.1%と令和5年度の85.1%より増加しています。 児童生徒が自らの身体に関心をもち、健康な生活を営むための態度を育成できるよう、各校や保護者に対して必要な情報を提供してまいります。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0303-01	2213-02	小学校健康推進事業	学校教育課
0303-02	2213-03	中学校健康推進事業	
昨年度と比較し、小学校ではう歯治療率が低下し、中学校では上昇しました。また、各年度とも、中学校と比較し、小学校のう歯治療率が低い結果になっています。このあたりの原因は何かあるのでしょうか。分析結果や研究結果等はあるのでしょうか。【荻原】			
令和6年度の取組状況	一人で複数本のう歯を保有している児童が治療に行かないことで、処置率が変わります。そのような児童が小規模校に居ると、数値の増減も大きくなることが一因と考えます。 分析結果や研究結果はございませんが、処置率の向上には、家庭の理解と協力が必要です。今後も学校と連携を図りながら、処置率向上や啓発に努めてまいります。		

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

施策1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-03	2141-01	公立幼稚園管理運営事業	こども保育課
実績値（周知数）で目標を上回ったことに、こども保育課や現場の各市立幼稚園の御努力に感謝申し上げます。 保護者や地域へのPRについて、さらに、充実されますようお願いいたします。【新井】			
令和6年度の取組状況	加須市立幼稚園を知っていただく機会とするため、令和6年度も引き続き、全ての園の未就園児集会に、通園区域に関わらずどの地域のこどもでも参加できるようにし、PRを行いました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	教育総務課
0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	
長寿命化計画に基づいた全面的なトイレ改修、トイレ洋式化、校舎の木質化やバリアフリーの実施に大いに期待します。			
予算に限りがある中での、事業であることは承知しておりますが、引き続き、温水洗浄便座の導入及びLGBT等への対応も含めて、男子用のトイレの個室化を強く希望します。【荻原】			
令和6年度の取組状況	加須市学校施設長寿命化計画に基づき、礼羽小学校校舎の長寿命化改良工事設計業務において、多目的トイレの新設や便器洋式化を含む全面的なトイレ改修、校舎の内装木質化やバリアフリー化など、児童が快適に過ごせるよう、機能性や快適性等に配慮した施設整備の設計を行いました。		

基本目標 5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

施策 1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-01	2215-01	学校いきいきステーション事業	学校教育課
加須市は、埼玉県为学校応援団の発祥の地です。幼稚園・学校・家庭・地域が一体となって、こどもの支援、教育活動の支援をすることが本事業の目的と捉えています。 その中で、幼稚園・学校応援団の登録者数の減少という課題は、高齢化と関連することから仕方がないことと捉えています。 一方で、幼稚園や小中学校の現場が、どれくらいの応援団の人数を、どのような分野で必要としているのか。また、その数は、現状で足りているのでしょうか。 学校が必要としているのかいないのかを確認して、事業の方向性を定めていくとよいのではないのでしょうか。 登録者数は本事業の一部であり、実際に子どもたちの健全育成に学校応援団がどう関わったかによって評価となるのではないかと考えます。各幼稚園・学校の実情と併せて今後の事業の方針を検討すべきと考えます。 いずれにしても、コロナの影響で、応援団の幼稚園・学校への直接的な来校や活動等が制限されてきたことは大変ご苦労されていると想像できます。それでも、工夫しながら、子どもたちの登下校を見守る応援団（交通指導員を含む）、実際に教師の片腕となって学習や遊びの支援を行う応援団、草取りや施設設備・環境の修繕等を行う応援団、その他幼稚園・学校の実情に応じて、協力をいただいている地域の皆様に深く感謝したいと思います。 予算執行率99%も、できる限りの実施をされたと考え、高く評価したいと思います。 【新井】			
令和6年度 の取組状況	学校応援団は、学校の活動を支えてくださる非常に大きな存在です。近年は、学校応援団の方の高齢化に伴い、辞退される方が多くなっており、市の人口とともに児童生徒数も減少する中、今後の継続を考えた時には、各学校の実態に応じた応援団の募集は、必要であると考えています。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-02	2215-02	地域密着型教育広報事業	学校教育課
パネル公開についてはゼロ予算事業ですが、学校に負担がかからない範囲で実施していただき、学校等の情報を広く市民や地域に周知することは重要であると捉えています。 どこにパネルが設置してあるのか、児童生徒、保護者、市民への周知という点でPRしていただきたいと思います。【新井】			
令和6年度 の取組状況	各校のパネル掲示については、掲示期間や掲示枚数を考慮し、教職員に負担がかからないよう努めながら、市民や地域に各校の情報を提供しております。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業	学校教育課
コロナによる影響が大きいというなかで、本事業が「あいさつ」の大切さを教育委員会や各学校が十分に理解し、工夫して実施されている点が素晴らしいと考えます。コロナ時代においても、やらなくてはならないことをしっかり実施したということです。 駅前キャンペーン、市民祭まつりでも実施されたということ、久しぶりに「あいさつさわやかかぞのまち」が響いたことでしょう。 指標1のアンケートが実施されない理由、承知しました。新たな事業展開に期待します。【新井】			
令和6年度の取組状況	5月の市民平和祭、10月の加須地域市民まつりにおいてあいさつ啓発運動の実施しました。 市内全小中学校及び幼稚園において、前後期にわたりあいさつ運動を実施するとともに、加須駅、花崎駅、新古河駅、柳生駅、栗橋駅において、近隣の市立小中学校や私立中、高等学校とともに、年2回、朝のあいさつ啓発運動実施しました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-04	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	学校教育課
保育所、幼稚園、小・中学校の交流やリンクミーティングに取り組みやすい環境にあるのが加須市の大きな特色であると考えます。その環境を活用し交流が積極的に進められ、目標値を上回ったことは素晴らしいことだと思います。 過去の経験では、家庭科の授業の一環で、幼稚園を訪問した生徒が中学校生活ではあまり見せない一面を発揮し、積極的に交流していたことや中学生の合唱に幼稚園児が言葉をなくして聴き入っていたことなどが記憶にあります。また、本事業とは少々目的が異なりますが、地域のボランティアによる「絵本の読み聞かせ」を定期的に開催したところ、中学生が目をは輝かせて聞き入っていたことも記憶にあります。 異年齢間での交流や学区を越えた交流会などは、こんな効果があった…などと言葉では表せない効果や数値化できない効果があると思っています。家庭や地域で健やかな子どもを育む取組として、目に見えない効果、様々な効果があると思っています。また、不登校児童生徒の解消にも一定の効果が期待できると思っています。今後も是非、充実・発展をさせていってください。【荻原】			
令和6年度の取組状況	ご指摘のとおり、保・幼・小・中の異校種交流は、同じ活動であってもそれぞれの発達段階において異なる学びの機会となります。今後も積極的に交流が図れるよう、支援してまいります。 中学校区内において、校種間の教職員、家庭、地域が目指す子ども像を共有し、幼児教育、義務教育における学びの連続性を意識した一貫性のある教育の実現のために中学校区リンクミーティング（中学校区合同会議）を実施しており、各校・園の考えを共有したり、交流の機会を設けました。		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-09	2215-08	通学路安全対策事業	学校教育課
本事業は、こどもたちの安心・安全に直結した通学路の整備が主たる目的となっています。 令和5年度も「目標を達成」、しかも実績「100」の継続は素晴らしいです。執行率97%も充実した事業の証と捉えることができます。ありがとうございました。 本事業は、交通防犯課とは別に、通学路の改善要望にいち早く対応できるよさが真髄です。この事業で対応できない大規模な要望についても、交通防犯課や警察と連携していただきたいと思います。【新井】			
令和6年度 の取組状況	学校からいただいた要望については、関係各課、関係各所と協力して、全てに対応しております。具体的な対策ができない場合も、その理由を説明し、学校において交通指導をお願いするなどして、対応率100パーセントを実現しています。 学校教育課にいただいている予算においては、各地域担当課と協力し、迅速な対応ができるよう、今後も取り組んで参ります。		

施策3 青少年の健全育成の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0503-02	2215-07	青少年健全育成事業	生涯学習課
少年の主張大会など観客来場者が少ないのは、寂しいと感じます。キャパの問題であるなら、目標値を修正すべきと考えます。 市民へ広くPRして、少年の主張のよさを広げていただきたいと思います。【新井】			
令和6年度 の取組状況	コロナ禍明け後に来場者制限を廃するとともに、青少年健全育成に係る団体や機関へ観覧を呼び掛けたことにより来場者の回復が見られました。		

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策1 生涯学習活動の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0601-06	2311-05	シニアいきいき大学事業	生涯学習課
大学からの要請で人数制限があるが、令和5年度も募集定員を上回る申込があったとのこと。開講の日に来校するシニアの皆様の生き生きとした姿に、この事業の意義を感じています。目標人数には達していないが、当初の目標は十分に達していると思います。 アンケートを実施するなどして、指標を「生涯にわたる学びの支援」になっているかどうかにはいかがでしょうか。【荻原】			

令和6年度の取組状況	令和6年度、自然科学部と人文科学部の受講生を対象にアンケートを実施しました。授業の内容については、両学部とも「満足」または「大変満足」と回答された方が100%でした。また、生涯にわたる学びの支援になっているかの問いに対しては、9割以上の受講生が「なっている」または「大いになっている」と回答されました。
------------	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0601-08	2311-13	加須未来館管理運営事業	生涯学習課
加須未来館の年間来館者数が指標であり、コロナの影響があったとはいえ、5年度実績が約半数というのは寂しい限りです。 市民の来館はもとより、市外・県外の来館も増加できるように、リニューアルとPRの両方に力を入れていただきたいと思います。 せっかくの素晴らしい施設をプラネタリウムだけに頼ってはいけないと思います。【新井】			
令和6年度の取組状況	加須未来館で開催したイベント（春と秋の感謝祭、夏と冬の子ども広場、ラベンダーまつり）について、ホームページやSNS等による情報発信を行いました。また、加須未来館常設展示の宇宙服がテレビ番組に取り上げられた効果によって施設への注目が集まり、入館者数の増加につながりました。 令和5年度入館者数：47,947人 令和6年度入館者数：53,651人		

施策3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0603-01	2313-04	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業	生涯学習課
北川辺については、小学校の見学を大いに受け入れたり、出張授業を行ったりして、活用を図ってはいかがでしょうか。 せっかくの施設を有効に活用していただきたいと思います。【新井】			
令和6年度の取組状況	北川辺郷土資料館は、毎年、小学校の社会科見学等の利用実績があり、学校側からの要請に応じ、生涯学習課職員が、北川辺郷土資料館で展示内容の説明を行っています。特に、令和6年度は、「水塚」を中心とした「水辺の暮らし」というテーマについてPRを行いました。		

6 学識経験者の意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項」の規定に基づき、教育に関する学識経験を有する方の知見を活用するため、令和6年度の取組状況について、平成国際大学特任教授荻原孝之氏及び元昭和中学校校長遠井久夫氏からご意見をいただきました。

(1) 荻原孝之氏

① 評価に関する全体的な意見

報告書9ページ以降の「(2) 基本目標の取組状況」では、それぞれの基本目標における素晴らしい取組や成果が紹介されています。関係各課の各事業への取組に敬意を表すとともに、感謝申し上げます。

しかしながら、各基本目標の指標数や各事業の指標についてはやはり疑問が残るものがあります。令和7年度に計画の見直しがあるということですので、検討をお願いいたします。

また、令和6年度からスポーツ振興課の事業が教育委員会から移管されたようです。このことに関連しての意見です。中学校部活動の地域移行について、これまで学校教育課が所管して事業を進めていました。地域移行が少しずつ進行していくとはいえ、これまでの経緯から学校教育から切り離して考えることは非常に困難であると考えます。今後とも教育委員会が積極的に関与していくことを切に希望します。

② 各事業についての意見・感想

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

家庭用充電アダプターの貸与による学習用端末のさらなる活用の促進、ICT活用推進研究指定校の増加、オンラインミニ講座「加須学びDX」のオンデマンド型の配信開始など、ICT教育の推進がさらに進んでいることに敬意を表します。また、「加須市チャレンジテスト」をCBTで実施したことにより各校の課題解決に向けた取組が充実し、確かな学力の育成につながったことは素晴らしい成果だと思います。

教育活動補助員、スクール・サポート・スタッフ、AFT、ALT、障害児介助員等の配置は、教員の働き方改革につながると同時に、児童生徒一人一人にきめ細やかな指導や支援を行うために不可欠です。今後も計画的な配置が行われることを願ってやみません。

施策1 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども保育課
子育て支援として預かり保育を実施し、昨年度に引き続き、希望者全員の預かり保育を実施したことは、本当に素晴らしいことです。 また、令和7年度からは長期休業中の預かり保育を試行的に実施するという事です。			

益々多様化するであろう保護者のニーズに積極的に対応する教育委員会の姿勢に敬意を表します。

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-01	2211-05	少人数学級推進事業	学校教育課
「学校における働き方改革」を推進するためのもっとも効果的な方策は、人的配置であると考えます。チームティーチングや少人数指導を行うことで個に応じた指導や生徒指導の充実も図れます。 しかし残念ながら配置基準を満たした25学級のうち、17学級への配置にとどまってしまったようです。この原因はどこにあるのでしょうか。予算ではないようですので、人材確保が難しいということでしょうか。今後、様々な工夫をする中で、この事業も含めた人的配置を伴う事業の拡大を強く望みます。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-03	2211-12	小学校英語教育推進事業	学校教育課
小学校外国語活動の目標を概ね達成した5・6年生の割合が90%に達しました。素晴らしい成果だと思います。外国語が楽しいと感じている児童の割合が増加していることと連動した成果だと思います。授業者と外国語活動指導助手とのチームティーチングの指導の充実のによるものだと分析していますが、具体的にはどのようなことを行ったのでしょうか。 また、この取組を、中学校英語教育推進事業に活用することができないものでしょうか。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-04	2211-13	中学校英語教育推進事業	学校教育課
昨年度も述べましたが、まずその教科の授業が楽しいと思えるかどうかで生徒の興味・関心は全く変わりますし、学力に影響すると思います。「小学校英語教育推進事業」では、目標達成の要因を、授業者と外国語活動指導助手とのチームティーチングの指導の充実のによるものだと分析しています。 今後、英語教員の授業力向上のための研修会、小学校と中学校の連携を図るための研修会の充実、興味関心が高い生徒の英語力をさらに伸ばすためのイングリッシュサマーキャンプなどが実施されるということです。その成果に大いに期待いたします。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育課
加須未来館におけるサイエンススクールは、本市独自の理科教育として高く評価して			

います。今年度、市内全22の小学校の4年生に対して実施されたこと、指標に対する実績が95%と昨年度を上回り高評価であったこと、素晴らしいと思います。

プラネタリウムの鑑賞や未来館職員による天体の学習に児童の興味・関心を高める新たな工夫があったと推察いたします。今後も、未来館職員や市教育委員会指導主事等の発案で児童の理科教育や宇宙への興味・関心を高める工夫をしていただければと思います。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業	教育総務課
部活動が様々な理由から活動しにくい状況になっている中、5件（23名）の関東大会、全国大会の出場があったことは素晴らしいと思います。昨年度も述べましたが、交付件数が目標値を下まわったため「大幅に遅れている」と評価したとありますが、関東大会、全国大会の出場件数を目標に設定していることがおかしいと思います。関東大会、全国大会はそれぞれ厳しい予選があるためなかなか出場できないのが現状です。出場した23人に対し、自己負担が生じないように派遣費が規定通り補助できたのであれば、「目標を達成」の評価で良いと思います。 上位計画との整合性を図りながら指標の見直しの検討をお願いします。			

施策3 教職員の資質能力の向上

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	学校教育課
0103-02	2211-07	学習指導改善研究事業	

いずれの事業も「埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合」の指標では、「やや遅れている」の評価です。地域や学校の特性、その年度の児童生徒の実態等もあり、簡単に指標通りに学力向上が図れるとは思っておりません。、「分析をふまえた改善点・今後の取組内容等」では、「特に学力を伸ばしている学校や教員の取組を市内で共有し、指導力の向上に繋げる」とあります。具体的には、どのような分析をし、活用しているのでしょうか。また、県内他市では、独自の取組が成果をあげ学力向上に繋げている市もあるようです。これらの市の取組等について参考にし、活用してみたいかがでょうか。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-02	2211-07	学習指導改善研究事業	学校教育課
「体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク（A+B+C）の児童生徒の割合の指標が「概ね達成」です。運動部活動が様々な理由から活動しにくい状況になっていること、児童生徒の普段の運動する機会がいわゆる3間（時間、空間、仲間）の減少で失われていることを危惧しています。体力向上推進委員会の活動の充実とその広報、体育授業の充実（体育が好きな児童・生徒の割合が増える授業）に大いに期待いたします。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-03	2211-15	教師用教科書・指導書措置事業	学校教育課
教師用教科書・指導書は、特に若い年代の教員にとって必要不可欠な物であると考えます。毎年度、学級の増設や教員の増員で必要となった教師用教科書・指導書が直ちに100%配布されていることは、当たり前のことのようにですが、素晴らしいことだと思います。今後も予算措置を継続させ、事業の継続をしていってください。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-04	2211-16	社会科副読本資料作成事業	学校教育課
評価に対する分析にもありますが、指標の「加須市に対する理解が深まった児童生徒の割合」を評価テストの平均正答率が8割を超えている児童の割合で算定していることに疑問を感じます。アンケート等を実施し、「加須市に対する理解が深まった児童生徒の割合」を算出してはいかがでしょうか。			

施策4 ICTを活用した教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	学校教育課
「ICTを活用して効果的な指導ができる教員の割合」が令和6年度も上昇していることは素晴らしいと思います。継続的な研修、加須市小・中学校ICT教育推進委員会等の取組の成果と敬意を表します。 また、「ICTを活用して情報活用能力を発揮できる児童生徒の割合」の指標では、中学生が100%に達し、小学生も高い割合を維持しています。各学校の先生方の取組、市教育委員会の取組の成果と高く評価するとともに敬意を表します。 一方、昨年度も申しあげましたが、教員及び児童生徒に配布されている端末に、不具合が発生したり、修理等が必要になった場合の対応についてはどのようなになっているのか知りたいと思います。特に、児童生徒に配布されている端末の管理等が担任等に任せられているようなことがあるとすれば、「学校における働き方改革」の足かせになるのではないかと考えるからです。			

施策5 特別支援教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0105-02	2211-25	小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
0105-03	2211-26	中学校特別支援教育就学奨励事業	
全国的に特別な支援を必要とする児童生徒の割合が増加傾向にあり、加須市においても特別支援学級に在籍する児童生徒が増加傾向にあると聞き及んでおります。そのような中、加須市においては、特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担の軽減を図るため就学奨励費を、毎年度100%支給しています。素晴らしい実績と大いに評価するとと			

もに、敬意を表します。今後も必要に応じた負担軽減策を継続していただきたいと思います。

施策6 学びを支える経済支援

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0106-01	2211-21	小学校就学援助事業	学校教育課
0106-02	2211-23	中学校就学援助事業	

家庭の経済的格差による児童生徒の教育的格差があってはならないと考えますが、現実的には様々な事情からそれが無いとは言えない状況にあると思います。また、近年のひとり親家庭の増加傾向、賃金の上昇が諸物価高騰に迫りついていない現状などから、加須市においても、就学のために援助が必要な家庭が増加傾向にあると聞き及んでおります。そのような中、加須市においては、制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者に、毎年度100%就学援助をしています。素晴らしい実績と大いに評価し、敬意を表します。

施策7 自立する力の育成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-04	2211-17	防災教育推進事業	学校教育課

地球温暖化が原因とみられる異常気象等による台風や豪雨、それに伴う土砂災害、地震や津波等の災害が毎年のように発生し多くの犠牲者が出ています。過去に台風による豪雨によって利根川の堤防が決壊し多くの被害と犠牲者が出た本市においては、児童生徒に実践的な「防災対応能力」の基礎を培うことは大変重要だと思います。そのような中、「加須市防災指導資料」が市内各幼稚園、小・中学校で毎年度100%活用されていることは素晴らしいと思います。防災教育では、自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深めることや災害発生等に伴う危険を理解・予測し自らの安全を確保するための行動ができるようにすることが重要です。さらなる防災教育の充実を願ってやみません。

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

いじめや不登校の問題は、加須市のみならず学校における全国的な課題であると認識しております。そのような中、教育センターを中心に、不登校児童生徒の生活改善を図り、どこにもつながらない児童生徒を0にするとともに、学校復帰を目指すための「加須学びサポート『ピア』」の運営、引きこもりがちな不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援「加須学びリンク『ピア』」の運営、不登校傾向の児童生徒の交流の場、居場所づくり「加須ステップ『ピア』」の運営、不登校を考える保護者の会「ハート・ピア」の開催、市内全中学校にスペシャルサポートルームを設置など、いずれも素晴らしい取組であると高く評価します。

いじめや不登校の問題は、未然防止が大変重要です。いじめの未然防止、不登校の

未然防止についても事業や指標の中で評価できるようにしていただけたらよいと思います。

施策1 いじめ対策の充実

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育課
「基本目標2：豊かな心を育む取組を推進します」の感想でも述べさせていただきましたが、いじめや不登校の問題は、加須市のみならず学校における全国的な課題であると認識しております。残念ながら加須市の小学校では不登校の児童の割合が増加してしまいました。しかし中学校においては、不登校の生徒の割合が減少しました。評価については、依然として不登校生徒数が多いため「大幅に遅れている」としたようですが、私はここまでの取組の成果として高く評価したいと思います。 不登校児童生徒の生活改善を図り、どこにもつながらない児童生徒を0にするとともに、学校復帰を目指すための「加須学びサポート『ピア』」の運営、引きこもりがちな不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援「加須学びリンク『ピア』」の運営、不登校傾向の児童生徒の交流の場、居場所づくり「加須ステップ『ピア』」の運営などが昨年度に引き続き運営されるとともに、今年度から、不登校を考える保護者の会「ハート・ピア」の開催、市内全中学校にスペシャルサポートルームを設置など、さらなる取組が追加されました。いずれも素晴らしい取組であると高く評価します。特に、本年度からの取組が、中学校の不登校生徒の割合を減少させる遠因だったのではないかと推測しますが、いかがでしょうか。是非分析をお願いします。 今後も、あきらめない取組に期待するとともに、スタッフの増員、学校現場との連携・協力の工夫を希望します。 また、いじめや不登校の問題は、未然防止が大変重要です。魅力ある学校・学級づくりに各学校の更なる工夫を期待します。			

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

保護者の経済的負担を軽減するための給食費の一時的免除、保護者を支援するための「ちょこっとおたすけ絆サポート券」の配布など、児童生徒の保護者になりかわって感謝申し上げます。

今後も保護者の経済的負担を増やすことなく、質や量を確保した学校給食が提供されることを願ってやみません。

施策1 安全・安心な給食の提供

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	学校給食課
当たり前のことのように、衛生管理を徹底し事故なく予定通りに給食が提供されていることは、素晴らしいと思います。関係の皆様努力に敬意を表します。			

今後とも安全で安心な給食を提供するため、施設の維持管理及び衛生管理の徹底に努めていただきたいと思います。

施策3 健康の保持増進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0303-01	2213-02	小学校健康推進事業	学校教育課
0303-02	2213-03	中学校健康推進事業	
児童生徒のう歯治療率、小学校が91.1%、中学校が94.5%となり、小学校では令和2年度以降始めて90%を超えました。中学校も昨年度を上回る結果になっています。保護者、学校、教育委員会の努力の成果と評価します。 しかし、治療勧告を受けても治療を行わない児童生徒がまだいる実態があります。この問題は本人というより家庭環境等に課題がある場合がほとんどであると思います。う歯治療率、う歯保有率を生徒指導にも是非活用してください。			

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

教育環境の整備については、どの施策においても莫大な予算が必要となるため、長期的な計画に基づいた事業が行われていると推察します。そのような中、全体的には目標が概ね達成されています。今後も計画的に環境整備が行われていくことを期待します、

施策1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	教育総務課
0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	
トイレ改修について、今後、小学校・中学校とも長寿化計画に基づきトイレ改修が行われるようです。 家庭のトイレがほとんど洋式化し、さらに温水洗浄便座になっている中、学校のトイレだけ取り残されている気がします。トイレ改修、トイレ洋式化、温水洗浄便座の導入を強く要望します。 また、LGBT等への対応も含めて、男子用のトイレの個室化も要望します。			

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

今年度、昭和中学校区の4校で学校運営協議会（コミュニティスクール）を先行導入し、来年度から全小・中学校導入の予定であるということです。昭和中学校区の取組の成果と課題を整理し、他地区での事業が成果のあがるものとするために活用していきたいと思っています。

保育所、幼稚園、小・中学校の交流やリンクミーティングに取り組みやすい環境にあるのが加須市の大きな特色であると考えます。家庭や地域で健やかな子どもを育む取組として、今後も充実・発展をさせていってください。

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-04	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	学校教育課
保育所、幼稚園、小・中学校の交流やリンクミーティングに取り組みやすい環境にあるのが加須市の大きな特色であると考えます。その環境を活用し交流が積極的に進められ、今年度も目標値を上回ったことは素晴らしいことだと思います。 今後、保育所・幼稚園から小・中学校への「縦」の連携に加え、同一小学校区内の保育園と幼稚園、同一中学校区内の小学校といった「横」の連携にも取り組むとのことです。さらに年度末に保・幼・小中連携協議会を開催し、リンクミーティングの成果及び交流活動の実績を振り返り、次年度にいかすということです。関係者の積極的な取組に敬意を表すとともに、大きな成果が得られることを期待します。 この事業は、不登校児童生徒の解消にも一定の効果が期待できると思います。効果があつたとしても、なかなか目に見えないものかとは思いますが、今後、その視点からの効果の検証もお願いしたいと思います。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-06	2215-05	家庭の学びと地域の絆推進事業	生涯学習課
就学前の保護者の子育てに対する悩みや不安を解消するために、「就学前子育て講座」や「親の学習講座」「家庭教育学級」等を開催することは、親のニーズに応える大変意義ある事業であると思います。目標値が毎年違いますが、就学予定の児童数が目標値なのでしょう。共働きの家庭、ひとり親家庭などその環境は様々で、参加したくてもできない家庭もあるかと思いますが、そもそもこのような有意義な講座等が開催されていることを知らない家庭もあるのではないのでしょうか。 これらの講座等の開催についての周知、PRはどのようにされているのか教えてください。また、土曜日や日曜日に開催するなどの工夫はされているのでしょうか教えてください。			

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

生涯学習セミナーや市民学習カレッジの企画及びその成果の発表・展示の機会の提供。加須シニアいきいき大学、加須市ミドルアップ大学の開講など、市民のニーズに応える様々な事業が展開され目標を上回る多くの市民が参加しています。素晴らしいことだと思います。

施策1 生涯学習活動の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0601-04	2311-03	生涯学習きっかけづくり支援事業	生涯学習課
0601-05	2311-04	市民学習カレッジ事業	
0601-06	2311-05	シニアいきいき大学事業	
生涯学習セミナーや市民学習カレッジの企画。加須シニアいきいき大学、加須市ミドルアップ大学の開講など、市民のニーズに応える様々な事業が展開されています。平成国際大学での事業は、駐車場等の事情により人数が制限され目標値には及びませんが定員を上回る応募者があるということです。そのほかの事業は、いずれも目標を上回るような多くの市民が参加しています。素晴らしいことだと思います。今後とも内容を充実させるなど、市民のニーズに応える企画・運営をしていただければと思います。			

(2) 遠井久夫氏

① 報告書全体に対する総括的な意見等

本年度は、加須市総合振興計画の最終年度となるわけですが、令和6年度の評価結果を見ると、全88の指標のうち、評価として「目標を達成」と「概ね達成」と判断された割合を合わせると、53.4%という結果であり、ラスト残り1年の状況としては、なかなか厳しい状況と捉えます。しかしながら、その期間中には、新型コロナウイルス感染症による遂行不能期間や、事業遂行停止の期間も含まれているので、大幅に予定を狂わす事態であったことも十分予想されます。もし、コロナ禍の4年間で順調に遂行できる状態にあったならば、おそらく本年度の評価内容も、全ての評価項目が「概ね達成」の評価に近い状態であったことと思います。それらを踏まえると、令和6年度も加須市における教育行政として目指している、基本目標を基に各種事業が確実に履行され、目標に値する成果を挙げていると思います。本年度の末には、「やや遅れている」と「大幅に遅れている」事業項目の達成を期待したいと思います。

② 各事業についての意見・感想

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-03	2211-12	小学校英語教育推進事業	学校教育課
この事業における昨年度との比較における実績値の伸びが大幅に向上しているところが評価できます。指標となっている、小学校における5、6年生の外国語活動の充実度が伺えます。市教育委員会(学校教育課)の推し進める事業として、AFTの有効活用による効果が徐々に発揮されてきているのではないかと推測します。各小学校で外国語活動主任を中心とした指導スキルの向上や、市教育委員会から派遣される英語教育指導員による授業実践に対する適切な指導により、担当する教員とAFTの協調がさらに深まり、授業力の向上につながったのではないかと考えます。また、学校以外での市教育委員会主催の事業でも、こどもたちが興味深く外国語に触れる機会を作ったため、関心・意欲を深め、学習意欲の向上に寄与したのではないかと想像します。こどもたちが、将来において国際化した社会を生き抜くためには、外国語力は必要不可欠となります。今後も、これらの活動の維持・発展に期待します。			

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

施策2 不登校対策を中心とした教育相談の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0202-01	2212-02	教育センター運営事業	学校教育課
すでに目標値は達成していますが、指標である、教職員を対象として研修後のアンケート			

ートに「参加してよかった」と回答する割合が、この事業を始めた当初から、毎年度達成していることにすばらしさを感じます。研修会では、研修内容や講師の講義内容によって、参加する人の満足度は大きく違ってきます。しかしながら、6年間この成果を続けているということは、研修会内容の設定が適切であり、参加者のニーズに合致しているということだと思います。講師の人選、本市の教職員の実態を踏まえた研修内容につきましては、引き続き精査いただき、参加者満足度100%を目指しご尽力いただくことをお願いします。なお、教育は不易と流行の両面を持つと言われます。流行の側面において、今後、こどもたちが社会に出た時に、確実に必要となっていくICT機器の基礎知識習得に向けての教職員向け指導や、不易としては、各教職員が自身の教育信条を持ち、こどもたちを育成していくために、ブレない教育、ブレない指導をしていくことができる教師を育成することを目的とした研修会等を実施していただき、加須市の教員が、プロ教員の軍団として、自信をもって指導できる人財を育成いただきたいと思います。

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策1 安全・安心な給食の提供

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	学校給食課
加須市の給食については、センター方式であり、この取組の間には、北川辺給食センターの廃止もありました。給食の配送区分の変更や市内広域に運搬する等、多くな変更があるにもかかわらず、安心で安全な給食を提供していただいておりますことに敬意と感謝を申し上げます。また、毎年児童・生徒等の給食アンケートを実施し、こどもたちの実態を踏まえた給食運営をしていただきありがとうございます。最終年度を迎えますが、引き続き安心で安全な給食の提供をお願いします。また、こどもたちのニーズに合った献立の作成と、食べ残しの出ない内容(※ 例:アンケート結果の好きなメニューの回数を増やす。牛乳を全てコーヒ牛乳に変える。カレーは毎週提供等)のご検討も有効かもしれません。もしかすると、不登校の解消の一助となるかもしれません。※給食費食材の金額は無視した場合です。			

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

施策1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	教育総務課
小学校でも中学校でも、教育環境の充実は、こどもたちの安心で安全な学校生活を後押ししてくれます。「割れ窓理論」ではありませんけど、学校施設の環境条件は、こどもたちの心に大きく影響し、劣悪な環境では心の荒れを作ってしまう場合もあります。学			

校は、明るくきれいが理想ですが、市の予算を見ると即座に改修していくことは不可能かと思います。市内の中学校を見ても、全てではありませんが、かなり外装、内装とともに古さを感じる学校もあります。学校によっては、せめて内装だけでもという学校もあります。おそらく、改修工事に関しましては、市の計画に基づき順次進めていることと思いますが、できるだけ早く進めていただき、未来への投資をご検討いただくことを期待します。

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策2 芸術文化の振興

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0602-04	2312-04	偉人顕彰事業	生涯学習課
この事業はとても面白い事業であり、さらに変化させていただきたいと思います。加須市の偉人は、比較的に広く市民に知られていないのではないかと思います。等身大のパネルは、旧1市3町(加須地域・騎西地域・大利根地域・北川辺地域)の全ての本庁舎・支所及び全ての学校、各地区の市体育館等に設置し、周知した方が良いでしょう。また、加須市の偉人については、加須市教育委員会作成の小学生向け社会科の本にも掲載されているものなので、その有効活用を図るとともに、市民への更なる周知を期待します。また、予算がある事業なので、外部の制作会社に依頼し、AI技術を使い、偉人による加須市の未来を語る座談会の映像を作成し、市役所・支所のロビーで流したり、YouTubeにアップするなど、また、市のラインに登場させ市民へのメッセージに活用するなど、偉人活用をさらに発展させ、加須市のPRも含めたPRを進めた方が良いでしょう。※シティープロモーション課と連携			

施策3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0603-02	2313-02	加須インターネット博物館管理運営事業	生涯学習課
ネット社会を有効に活用した、このような取組はとても有効だと思います。本市のインターネット博物館は、他の都道府県、あるいは全世界からもアクセスができ、歴史や地理に興味・関心を持っている人や、研究者にはとても興味深いコンテンツだと思います。そういう意味でも、新たな文化財の発掘やまだ掲載していない部分の追加等も進めていただくと、外部の方々にとって加須市の魅力を発信できるのではないかと考えます。また、バーチャル加須(はなまる加須)等との連携による発展的活用も行っていくと、官民連携事業として発展していけると思います。そのモニターを、各地域の公共機関等に設置することも希望します。			

7 おわりに

加須市教育委員会では、令和３年度から「第２次加須市人づくりプラン」に基づいて、本市教育の振興に取り組んでいます。

「第２次加須市人づくりプラン」では、「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念に、令和７年度までの５年間に取り組む７つの基本目標と２６の施策を設定しています。

令和６年度は、このプランに位置付けられた１５６の事業の中から、教育委員会の権限に属する７１事業及び教育委員会運営事業など体系外の２事業を加えた７３事業を対象に、事務事業の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成いたしました。

今回、平成国際大学特任教授萩原孝之氏及び元昭和中学校校長の遠井久夫氏の２名の学識経験者から貴重な御意見をいただきました。これらの御意見を生かしながら、自己評価に対する分析を踏まえ、今後の取組の改善につなげてまいります。

最後に、点検評価に当たり、貴重な御意見を頂きました学識経験者の方々に、心から御礼申し上げます。

令和７年９月
加須市教育委員会